

家庭・保育所・幼稚園

幼児の教育

第五十四卷 第六號

日本国利便道特別郵便物種別第六三三号



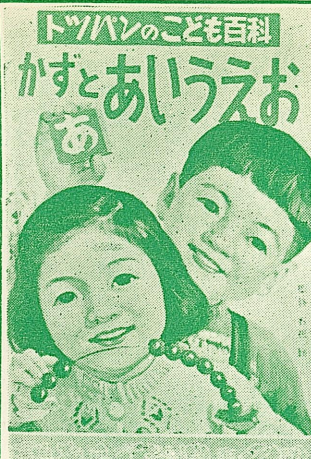
こども百科

トツパンの

バラバラにお買いになるとして
も、買い方一つノ、こんなに為
になる絵本百科がそろいます。

- ① きしや 監修 鷹司 平通
- ② でんしや 鷹司 平通
- ④ なかよしどうぶつ 古川 晴男
- ⑥ かずとあいうえお 石黒 修

☆B5 18頁合紙 各 九〇円



トツパンの絵本はフレーベル館または代理店にてお取次ぎいたしております。

トツパン 東京日本橋茅場町1の20・振替東京41647



新 刊 御 案 内

倉橋惣三著
子供讃歌

B六三四頁 定価二六〇円 千二四

内山憲尚著
インドのお話集

あわてうさぎ

A五一七頁 定価二二〇円 千二四

村上幸雄編

幼児集 はるのひよこ

A五一七頁 定価二二〇円 千二四

長田 新著

フリーベルに還れ

B六一九頁 定価二〇〇円 千一六

落合聰三郎・周郷博編

幼児集 たのしい劇あそび

A五三三頁 定価二八〇円 千三二

松島 舜著

幼児のためのうたとマーチ

おおきいおうま

ちいさいおうま

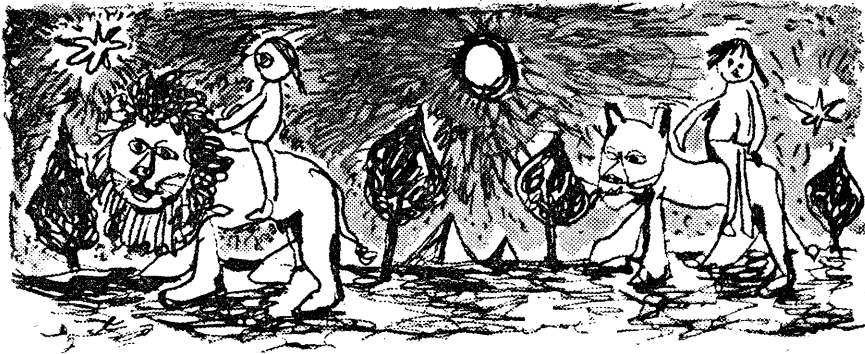
B五 九〇頁 定価三〇〇円 千二四



株式会社

フレーベル館

東京都千代田区神田小川町2ノ5 電話東京(29)7781~7785 振替東京 19640



目 次

表 紙 鈴木信太郎

倉橋惣三先生を悼む 2

弔詞…日本幼稚園協会・日本保育学会・心理学の友

みどり会・日本児童学会・フレーベル館

故倉橋惣三先生略歴

故倉橋惣三先生御葬儀の記

望月先生を偲びて 山崎ときの 14

先づより多くの幼児を.....多田鉄雄.....17

新入園児と集団教育.....久米光.....23

《特集》最近の入園状況 28

戸村キエ・玉川喜代子・長谷川増吉・中島研六

関博・長沼依山・笠原秀定・杉田熊蔵

高木三吉・本田玄洲・田中阿以・堀田茂兎

遠藤艶子・荒木志保・岩間松栄・森純吾

キリスト教幼稚園界の展望.....武南高志.....45

仏教幼稚園界の展望.....青柳義智代.....47

保育所の真の姿.....副島ハマ.....49

☆ドナ・ノビス・パッツエンの歌.....桜井たか子.....53

☆徳島名物今昔論.....板東和子.....58

連載 幼稚園史(5)

フレーベル以後の幼稚園.....津守真.....62

編集主幹
協力委員

倉橋惣三
牛島義友
多田鉄雄

編集主任
及川ふみ
波多野完治

津守真
斎藤文雄
山下俊郎
(五十音順)

倉橋惣三先生を悼む

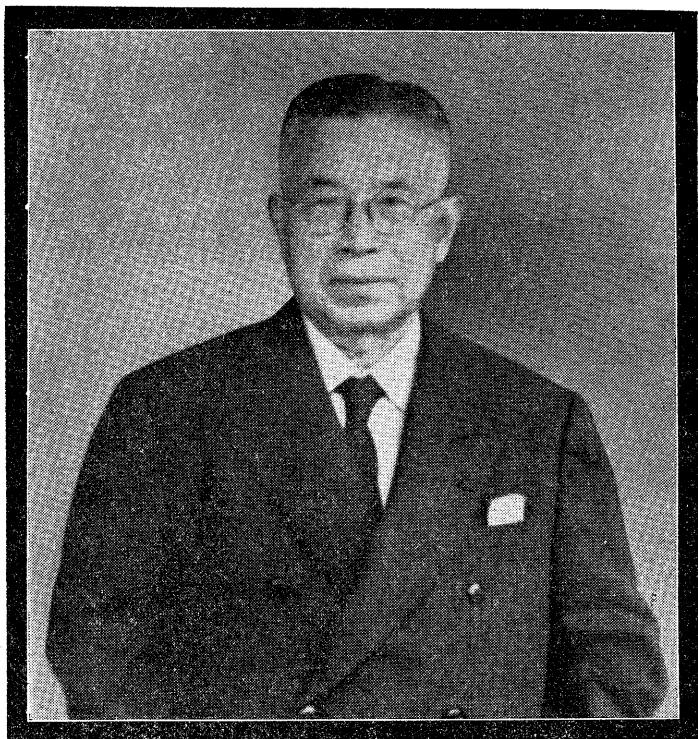
日本幼稚園協会

新庄よしこ

自由保育さけび給ひて五十年まことこの師は尊者せんじやにおはせり
かくて今は勁きずく誓はんみ教へを守りゆくべし全うすべし
幼稚園の職につきたるさいわいは此の先達せんだつの師にあひしこと
やがて咲く日も近しというに

われら師を花にたとえし日もありき桐の花とは誰か名づけし
徳子夫人の幸福を祈る

み子み孫弟子多く居り御霊守りすこやかにませ家刀いさぎ自じの君



(故倉橋惣三先生)

弔詞

四月廿一日 幼稚園の始祖フレーベル先生の記念の日に 我が国のフレーベルと仰がれている倉橋惣三先生は 忽焉として逝されました 余りの急逝に 私共はただただ驚き 呆然為すところを知りません

先生は明治四十四年頃より本会の主幹となられ 全くの搖籃時代にあつた我が国の幼児教育界に深い教養と 博い識見とをもつて幼児教育啓蒙の熱意を満身にこめて立上られました

そして講義に講演に 又は研究に實際の指導に あらゆる機会に私共を導き鞭撻して下さいました 又本会の機関雑誌「幼児の教育」を我が子の如くにいつくしまれ 四十余年もの長きに亘つて親しく編集 執筆せられました 先生の御人格そのまゝの おだやかな 情趣あふれる文筆もて 一頁一頁に熱意をこめられて執筆せられ 戦後新しい教育の旋風がまきおこりました時 私共は少しもあわても驚きもいたしませんでした それは何十年もの前に 先生によつて新しい理論の上に 我が幼児教育の原理と方法とを基礎づけておいて頂いたからでございます

先生の御導きをうけました後進は その後先生の開かれた道を 先生の御教えをうけついで社会教育幼児教育と広い分野にわたつて 益々研鑽を積んでおります

先生どうぞ御安心遊ばして下さい 我が国の津々浦々の幼稚園にいたるまで 先生の御指導のいた

らないところはありません

私共 御直々に御導きを頂きましたものは言うに及ばず 若い世代の人々も 幼児教育に関心を持つほどの人は 偉大なる幼児教育者として先生をおしたい申し上げております

先生は又実に御幸福な方でした 外 先生に接した人は皆円満な人格者として先生を御慕い申し上げておりますし 内は又御家族の方々の至れり尽せりの御心づかいの中に いとも御安泰な毎日をお過していらつしやいました

御臨終も亦格別の苦悩もなく 誠に御幸福に満ち満ちた御生涯であられました

さわあれ 今ここに先生の訃音に接し 涙流れてせき止めあえず 先生逝かれた後の私共の淋しさ 頼りなさとえようもございません 先生との永遠のお別れに際し 思い胸に溢れて言葉に尽し得ません

一同に代りここに御高恩を謝し 御冥福をお祈りするのみでございます

昭和三十年四月二十四日

日本幼稚園協会

及 川 ふ み

弔 詞

日 本 保 育 学 会

ここに倉橋惣三先生の告別式にあたり 先生の残された足跡をしのんで 謹しんで弔辞を申しあげます 先生は昭和二十三年日本保育学会を創設せられ その発足以来会長として慈父の愛情を以て学会の発展に尽力されました 先生は広汎な活動分野をもつておられました がそれぞれの分野においてすぐれた見解とそれを実践する力を示されました なかんづく幼児保育界における御業績には著しいものがありました 戦時中 学校教育全般にわたり統制教育が実施されたなかでひとり幼児教育界だけににおいては自由保育の線がくずされなかつたのはひとえに先生の御卓見とその実践力におうものであります このことは幼児保育にたずさわるもののながく誇るにたることであり 倉橋先生は私たちの誇りとする先生でありました

先生にふれるものは誰でもその人情味に強ぐうたれた

ことでありました 人情を流露することによつてひともしき自分も生きる道を先生は実践しておられました 教育が人情の土台の上に築かれるものであることを先生は確信しておられたのであります

心理学によつて子供を知り 教育学によつて子供の教育法を学ぶ他に 絶えず人間の偉大さを知らなければならぬ 絶えず心にその感激を湛えていなければならぬ そうでない時私の目は子供において凡庸だけを見るものとなるであろうと先生は自ら問われました そして先生は人間の偉大さを知るもののみが人間を教育することの偉大さを知り得ると語られました そして更に人間の偉大さを自分において信じ得るものは最も幸福であると語られ この幸福を先生御自身はつきりとつかんでおられました そうしてそれ故に先生は偉大な教育者であつたのであります

この偉大さに私たち一人一人が近づく道はけわしくまた遠いことでありますけれども私たちは先生におい

て また先生にふれることによつて人間の偉大さを見いだすことができました 私たちは先生により人間がどこまで偉大であり得るかを事実によつて証明され これによつて絶えず感激を与えられ 人間に対する信念をもつて教育の道を歩むことが出来ます この道は先生の歩まれた道でありその道を歩むものはこれから後も先生と共にあるのだと思います 先生は御生前において決して自分の如くあれとは語られませんでした そして理想を抱いて常に私たちと共に歩んでおられました

生きているものがわれあるによつて一層生きてくれるしかもわれは常に相手の生活の下に潜み内に隠れて この意図と努力とを表立てない 自らをあらわにしないで そつと他を生かす これが先生の生き方でありました われあるによつて一層生きる 今はなき倉橋先生ではあります が 私たちが先生の偉大さをおもひ先生の精神を体してよりよく生きるとき 先生もまたよりよく生きて下さるでありましょう 私たち一人一人がそれぞれおもしろいと感じていた御生前のあの先生にもはやふれることが出来ないことはさびしい限りでありますけれども このさびしさにたえ 私たちがそれぞれの道をよりよく歩むこと以外には 先生の霊をおなぐさめする

道も この御精神を生かす道もあります 私たちはひたすらにこの道を歩み 私はまた先生の御精神を体して日本保育学会会員ならびに関係者一同と共に 先生なきあとの学会の発展に微力ながら尽すことをちかつてここに弔辞といたします

昭和三十年四月二十四日

日本保育学会

山下俊郎

昭和三十年四月二十四日

心理学の友として

(原稿なし)

上野陽一

みどり会

幼児教育をみどりの森にたとえると 其中にひとときわ高く枝をひろげて こんもりと茂つた大きな菩提樹が わたくし達の倉橋先生でございました 樹かげにこんなと湧きあふれる泉 それを先生の詩と云いましうか 思想と申しましようか 私達み教をうけた数多の姉妹は 明治の終りから大正昭和の今日迄 半世紀に近い明

昭和三十年四月二十三日

みどり会代表

草 野 京

け暮を此泉によつて育まれ 学生生活を終り社会人になつても困つた時 悲しい時 嬉しい時 私達はいつもこの泉をくみに菩提樹の下に集りました むかしの幼児教育をかたい型から出して「生活を、生活して生活え」と伸ばして下さつたのは先生です 太郎さん 花子さんという個人を尊重されたのも先生です デュウニー博士の思想を保育の實際に生かされたのも先生です 皇后陛下への御進講 皇太子様のお相手 どんなに細かく深いお心使があつたでしょう 大正十五年はじめて幼稚園令が出る迄 又大戦後新日本の学校教育法に幼稚園を系統づける為に 戦争直後の不自由多い朝夕 御自身の体力を超えた努力をして下さつたのも先生です 先生は十二月のお誕生と承ります 大正八年欧米留学の為御出発の時もちろちら雪の降る寒い日でした 此度御病勢の急転で大木の倒れるように御永眠になつたのは 若葉美しい四月二十一日 丁度幼稚園の始祖フレーベルの誕生日と同じなのもふしぎなことと思われま

す 今日本の幼児教育界はまことにかけがえのない偉大な先生を失いましたが 先生の思想 先生の詩はありし日さながらに永久に私達の幼い人達の 又その母達の中に泉となつていつまでもあふれ流れることを信じます

日本児童学会

本会は名誉会員倉橋惣三君の逝去を悼み、茲に謹みて弔意を表する。

昭和三十年四月二十四日

日本児童学会

竹 内 薫 兵

株式会社 フレーベル館

このたび余りにも卒然たる先生の御逝去に遭い 呆然自失 全く為すところ言う言葉を知らざる有様であります

先生の御逝去は果たして事実であるのか 先生は今もこの瞬間も御元気で いつに渝らぬ温顔微笑を以て我々

を見ておいでになるのではないか 我々の心情はなお先生の御健在を信じ 之に反する一切のことはありうべからざることに思えるのであります

しかも私は今先生の御逝去という事実を心から信じ得ぬままに 納得し得ぬままに なお茲に先生の御靈前に立ち 無量贖劫を通じて唯一度だけの訣別の言葉を申し上げねばなりません 万感胸に迫るというもおろかであります 悲しみは筆舌に絶し 先生の生を奪い去つたものに對する怒りは五臓を駆けめぐる思いがされるのであります

先生が本社フレール館に御関係になりました初めは、本社創業間もなくの頃と伺つて居ります フレール館創業以来五十年 キングブックも亦創刊以来三十年に垂々としその年月の長さはそのままに本社が先生を慈父と仰ぎ導師と定めて 幾多世相の交転を超えて營々として歩み來たつた年月の歴史であります 今日幼児教育に對する一般の関心の深さは慶賀にたえないところでありますが その昔 世人の之に對する認識必ずしも全たしというを得なかつた時代に かの独乙国のフレール先生の御心を心とし 我々の先輩が時代の風雪の中にはぐくみ守り育て來たつた本社の事業に 光ともな

り 柱ともなり 杖ともなられて 或いは励まし 或いは導き今日の我社の姿にまでして下さいました先生の御真情は 今更ながら涙と共にしみじみ思われないわけには参りません

殊に昭和二十六年 この事業に就て全くの門外漢であつた私が たまたま経営の責任者として就任して以来の 先生の熱誠溢るゝ御指導 御鞭撻 御愛顧は 言葉に言い現わし難い感激と感銘を私の心に刻みつけているのであります

私がその職に任じてより約四才 幸いに大過なくその職責を遂行し得られたのは 偏えに先生の御指導によることは申すまでもないことながら 一昨年はキングブックの二十五周年記念祭も盛大に開催し 社の内外も漸くに整備し更に一段の發展を先生にもお喜び頂けると念じておりました矢先に

誠に天は無情であります 一瞬にして我らの慈父 導師を奪い去つたのであります その悲しみは私にとつて殆んどたえがたいものの如くに思われます

しかしながら事茲に至り 徒らに逝きし先生を偲んで悼み悲しむことのみが先生の御遺志ではないことを思います

故倉橋惣三先生略歴

(次男倉橋文雄氏の草稿による)

先生の御遺志はもとより一事業会社の消長にはなかつたのであります。遙かに高く先生は我国凡ての幼児の幸福を、然りまことにそのみを念じておられたのであります。

我々に残された責務は今日の悲しみを超えて明日の日本の幼児の幸福を培い育てることにある筈であります。そのみが先生の御遺志を真に生かし切る唯一の路であることを確信して居ります。

先生は永遠に我々の視界から去られました。しかし先生の御遺志はフレール館全社員の中に生きて脉々と波

打つて居ります。

先生の御名の呼ばれる限り、先生の御遺志は不滅であります。不朽であります。世代を超え、時代を超え、永遠に生くべきは申すまでもありません。

私はそれを確信し、又その実現のために今後身命を擲つて悔いしない決意を誓わして頂きます。

倉橋先生、どうぞ静に平安に御眠りになつて下さい。

昭和三十年四月二十四日 株式会社 フレール館

代表取締役 小 高 龍 治

倉橋惣三は明治十五年十二月二十八日、故倉橋政直、同とくの長男として静岡県鷹匠町に生れ、東京府立第一中学校、第一高等学校文科、大学哲学科を卒業し、児童心理学、幼児教育学を研究、明治四十三年、東京女子高等師範学校講師を嘱託され、大正六年、同校教授となり、爾来前後約二十五年に亘つて附属幼稚園主事をつとめ、又その間三年間は附属高等女学校主事の職にあつた。その間大正八年から十一年まで文部省在外研究員として欧米各国に派遣された。又、明治四十四年頃より日本幼稚園協会的主幹として、機関誌「幼児の教育」の編集にあつた。他、昭和二十三年、日本保育学会の発足以来、会長をつとめ、恩賜財団母子愛育会、日本児童学会役員の地位にもあつた。又、大正七、八年頃から雑誌「コドモノクニ」、昭和二、三年以来雑誌「キンダーブック」の編集顧問となり、幼児雑誌のために微力をいたした。この間、昭和初年以來、前後十数回に亘り、時に兩陛下、時に皇后陛下に児童心理および、幼児教育につき御進講申し上げ、昭和十二、三年頃兩三年に亘り、ほぼ毎週皇太子殿下のお遊び相手を申上げた。又、昭和四年から同二十一年まで文部省社会教育官を兼任し、成人教育の指導にあづかり、中央社会事業協会その他の団体にも関係し、社会教育、社会事業の発展にもあづかつた。さらに、この間「幼稚園雑草」「幼稚園保育法真諦」「育ての心」「フレール」「子供讃歌」新庄氏との共著「日本幼稚園史」を著した。

家庭人としては、明治四十五年三月、内田トクと結婚し、長男正雄、次男文雄、長女直子の三児をもうけた。昭和二十八年秋以來、循環障害の気味あり、治療につとめた結果、経過頗る良好であつたが、昭和三十年四月二十一日、脳血栓となつて、にわかに病状革り、同日午後三時五十分永眠した。行年満七十二。



(東京青山斎場にて)

故倉橋惣三先生 御葬儀の記

四月二十一日、午後三時五十分、幼稚園界の大恩人である倉橋惣三先生は、中野の御自宅で永眠された。

先生は此の数年間、御健康がすぐれなかつたが、最近是比较的お元気になり、人の訪うのを楽しみにしておられ、前日も庭において帶木を持たれる程、平常と変らぬ御生活であつた。四月二十一日は幼稚園の始祖フレイベルの誕生日であるが、此の日は朝から御気分が勝れず、目まいがするとして床に臥れ、幾度か嘔吐を催され、発汗が甚だしかつたので、奥様は神田の侍医に電話をなされ、偶々広島に御出張中の御長男にも電話をされて、御居間に戻られた途端に大きな呼吸と共に卒然と逝かれたのである。此の、日頃の静かな御生活そのままに、誠に倉橋先生にふさわしい大往生であつた。

待ちこがれておられた御長男が御帰宅になるまでは一切そのままにということで、誰にも知らされず、翌朝ラジオと新聞がその報を伝えるや、先生をお慕い申上げていた人々が、顎然として全国から、最後のお別れにと集つて来たのであつた。ゆきなれた、ご門か

らの長い石だたみの道を此の日は、誰しもが何と違つた心持で足を運んだことであろう。

先生の寝姿は、まるで眠るように、何の苦痛の色もなく、安らかにして平和であつた。今は声もなく床に臥される先生の御顔に静かに合掌した。

御葬儀は二十四日の午後、青山斎場にてと取りきめられ、二十二日と二十三の二日は夜おそくまで、中野の倉橋家には弔問客と、百通をこえる弔電とが後も絶たなかつた。先生のお好きな桜の花片がひらひらとお居間の前の庭に散つているのも悲しかつた。

二十三日の午前には、先生が御生前親しく御進講申し上げた皇后陛下、お遊び相手としてお仕へ申上げた皇太子殿下より、御供物が届けられた。

四月廿四日の日曜日朝から薄曇り、午前十時に出棺の式が営なまれ、十一時五十分に久しく住み馴れた千光前町の御宅の門からお送りした。

葬儀は午後一時から青山斎場で、神式にて行われ、御遺族を始め、お茶の水女子大学、

日本幼稚園協会、日本保育学会、国公立幼稚園長会、全国私立幼稚園連合会、みどり合等各界の代表者達の参列のもとに、御令兄菅原教造氏の司会によつていとも奥床しく又清楚に行なわれた。哀愁にみちた笛の音と共に御供物が献げられ、故人の学み来し道を頌えるのりとはげられ、各幼稚園団体の弔辞が読まれた時には、一同声をあげて泣いた。

故倉橋惣三の棺と黒く書かれた墨の色が悲しい。

二時からの一般告別式はさしもの青山斎場が、四列になつて玉串を捧げる数千の人の波で埋まり、一時間の間ひきもきらせぬ盛葬であつた。五十年の長きに亘つて我が国保育界のために尽された先生の御遺徳が今更ながら偲ばれる。

御葬儀の後、直ちに落合の火葬場にて茶毘に附され、真新らしい白木の箱に納められた。生涯を共にされて来た御夫人及び御子息、御令嬢の悲しみが察せられる。

外にはいつの間にか雨が降り初め、薄寒く既に宵闇が迫つていた。

先生が最後まで深く愛されて来た幼稚園の先生方と共に、心より故倉橋惣三先生の御冥福をお祈りする。
(津守記)

* * *

倉橋惣三先生の思い出を募集致します。
出来るだけ早く原稿をお送り下さい。

宛先 東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学内

日本幼稚園協会

御挨拶

本協会主幹 倉橋惣三先生には、突如四月二十一日急逝せられました。誠に痛惜の極みであります。四十余年の実に長きにわたり、主幹として本会の運営に尽粹せられ、機関誌、幼児の教育の育ての親として、直接間接に我が幼児教育界に偉大な足跡をのこし下さいましたことは関係者一同深謝する次第であります。先生が昭和二十八年の秋頃より健康とかくすぐれられず、協会の運営並びに幼児の教育の編集につき、私共微力ながら御手伝させていただき、ひたすら御快復を祈つておりました。この願ひも空しく今日の計にありません。

本協会の主幹は従来附属幼稚園主事長の就任する慣例にならない幹事諸氏のすすめに従いまして、浅学の身をかえりみずここにその大任をお受けすることになりました。何卒皆様方の御支援によりこの職責を果たされます様偏にお願い申し上げます。

尚幼児の教育の編集主任は、津守真幹事が倉橋先生の御遺考をつぎ、これにあたられますことをここに御挨拶させていただきます。

昭和三十年四月二十一日

日本幼稚園協会主幹

及 川 ふ み

望月クニ先生を悼む

日本幼稚園協会



(故望月クニ先生)

望月先生を偲びて

山崎ときの

我国幼児教育界の恩人、私共の大先輩、故望月クニ先生は輝かしい幾多の功績を残し天寿を全うされて、八十八才の御高齢を以て去る二月四日いとも安らかに永遠の国神の御許に旅立たれました。望月先生逝かれて二ヶ月、私共多年先生から懇切な御教導と御援助を辱うし、我子のように可愛がつて頂いた保育者達が追慕の情止みがたくいぬる四月三日、先生が二十七年の長い年月心魂を傾けて

御尽瘁遊されたゆかりの深い神戸幼稚園で追悼会を催し、先生の御霊を慰め且は御徳を偲びたいと計画致しました。

花曇り静かなこの日御遺族様方をお招きし御生前御呢懇であられた親友知己の方々多数の御来会を得会はキリスト教によつて進められました。が終始ありし日の先生を髣髴とお偲びする数々の追悼の辞に、先生の面目躍如として感銘限りなく幾度か目頭のあつくなるのを覚えました。

——愛の人望月先生——

幼稚園の大御所倉橋惣三先生は其著書「子供讃歌」の中に、彼の保育理論を育てた関西保育界と云う題目で「彼の保育理論は望月さんによつて保育界に引き出された、彼の保育理論は関西において与える所よりも育てられること多き年々を経験したのである」と誠に卒直に望月先生によつて啓蒙された事を述べられて居る。追悼会席上橋崎浅太郎博士は望月先生と私は約四十年前から母の様な姉の様な友人の様な先生の様な弟子の様な深い関係でと前置し私が今日幼

児教育の真義を了得し得たのは先生の保育への誘導のお蔭である云々と又元小学校長谷口氏は私は望月先生結婚媒酌百組中の一組でと真情を吐露され、先生に師事された十数人の園長方も異口同音立派なヒューマニストであられた事を語られた。かくの如く人間味豊かな先生は多くの有能な学者、又数限りない幼児教育者をそして万にも及ぶ幼稚園児と其両親を尙両親の持て余した少女少女迄をも深い愛情と真心を以てお育て下さつたのであります。

——努力の人望月先生——

先生は熱心な勉強家で常に向上の一途をたどられました。先生が明治三十九年神戸幼稚園へ御奉職になられた時分は一般にフレーベルの思想を適用した保母中心主義の保育が行われて居た先生はこの保育法に疑義を生じ苦悶の結果意を決して当時京大心理学の教授であられた松本亦太郎博士に教を乞われたのは大正の初年であつた。

博士は心理学の研究を先生に進められ其指導者として橋崎浅太郎博士を御紹介になりました。研究心の強い先生は直に神戸幼稚園で毎月一回乃至二回橋崎先生をお迎へして心理学や教育学の研究会を開催し市内の保母一同之に参加して熱心な研究が初められ、この研究会は実に十年の永い年月経続したのでありまして保育の基礎も科学的研究の上に確立しなければならぬとの考察の上に私共は一意研究に没頭致しました。神戸市幼児の身体的精神的、各種の発達標準が出来上りましたのも実にこの時代で保育に一大革命が持たされた次第であります。かくて是等研究の成果は全国に拡がり今日の新し

い保育の基礎となりました事は全く先生のたえざる御研究と深き幼児愛に淵源することと今もひしひしと感ずるのであります。

——情熱の人望月先生——

先生は岩をも動かす熱意をもつて我国幼稚園の進歩向上に尽力されました。幼稚園教員の資格待遇が小学校の夫れに比し非常に劣つて居る事の不合理を痛感し東奔西走当局への陳情法令改正への不断的努力は遂に幾多のよき実を結び且は現法令への誘導ともなつた事と信じます。特に大正十五年四月全国幼稚園関係者一同の望月久しかつた幼稚園令制定の蔭に先生長年の奮闘努力があつた事は申す迄ありません。同年夏東京で開催の盛大な幼稚園令発布記念大会の開会劈頭保育功労者の表彰が行われ望月先生は数少ない三人の中に加えられ全国保育関係者より満腔の敬意と感謝を捧げられた事は誠に当然の事でありました。かくの如く先生は神戸の否日本の幼稚園の育ての親で全国の保育者の敬慕の的であり、我国幼児教育振興の為に其尊い一生涯を捧げ尽された斯界の至宝であります。

今この吾等の望月先生を俄に地上より失いました事は実に幼児教育界の一大痛恨事で断腸の思いが致します。然し先生の偉大な御業績は我国幼稚園史の上に燦と輝いて永久に消ゆる事なく又先生の尊い御教訓の数々は多くの保育者の中に何時迄も生き生きと生きて働く事でありましょう。そして先生の清い霊は必ずや微笑して私共を眺め勵まして下さる事を確く信じ残る余世を斯道の為に捧げて御高志に添いたいと念願するものであります。(陸学園女子短期大学)

倉橋惣三先生著 子供讃歌より

彼の保育理論を育てた関西保育会

神戸——望月くに女史

武庫山を背にした斜面の港町の八月に、明るい日光と海からの涼風にめぐまれて、さわやかである。神戸幼稚園の広い部屋の硝子窓が、いつばいにはあけはなれて、中央の大テーブルには、籠に盛られた新鮮ないろいろの果物とサイダーの泡のたつ幾つかのコップが置かれてあり、白いテーブルクロスを、窓からの風が、ひらひらとさせている。

「お暑かつたでしょう」

「ここは大そう涼しいですね。それに神戸は空気が晴ればれしていて、気持ちがいいですね。さつき、停車場からここへつれてきていただいた途中でも、坂道から振りかえつてみる、港の景色がすつかり気に入りました」

「おんなじ暑くても、東京より空気が、むしろいいのがいいですよ。——香櫨園の講習では、どんお話でしたの」

「新日曜学校論というので、勝手な自由な話をさせて貰いました」
彼が、そういつてサイダーに唇をぬらすとテーブルのむこうの望

月さんが、つめたく冷したバナナを、銀のナイフで切つて、ガラスの皿においてくれた。そうして、女史独得のキビキビした調子で、「ここでも新幼稚園論を勝手に自由にお話をして下さいませんか。来年ここで、京阪神三市連合保育会の大会を開きますから」

といつて、若い人たちをかえりみて、

「ねえ。そう願いましうね。わたしたちは新しいお話に餓えてるのね」

といつた。もともと関西の生れで、東京女高師の第一回の卒業生である望月さんは、齒切れのいい東京弁である。それが、滑かな関西弁で話す若い保母さんたちのなかで、一層元氣よくきこえる。

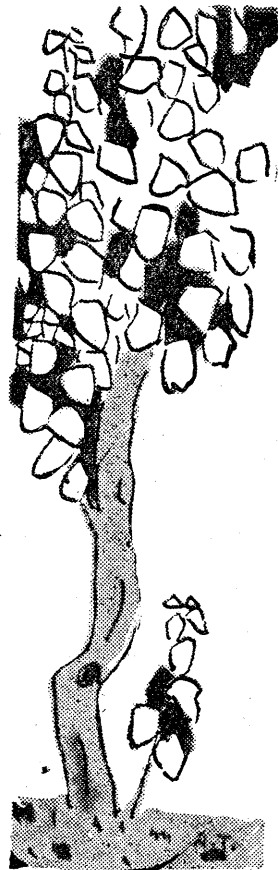
望月さんとは、手紙の往復はあつたが、会うのはこの日がはじめてであつた。彼が、阪神香櫨園の日曜学校教師講習に招かれてきた機会、わざわざ迎えられて望月さんの幼稚園へ来たのである。

その時の約束にもとづいて、翌年の春、彼は、三市連合会の総会で、「保育の新しい目標」と題して、長い講演をした。

..... 中 略
.....

望月さんは、会員席の最前列にいて、彼の活動心理学や、神経発達論等の学問的な論述の中に、若い気焔のまじる話を、熱心にきいてくれたが、講演がすむと控室にいつしよにきて、やにわに握手してくれた。そのころ勢のいい望月さんは、よく握手する人であつた。

先づより多くの 幼児を



多 田 鉄 雄

たまたま最近に出版されたドイツの本に「西欧の学校制度」 E. Hylla u. W. Winkle: Lieshulen in Westeuropa, 1953.と云うのがあり、その幼稚園の項を通読して見ると、早くから幼稚園を公学校系統に組入れているイギリス、フランスを除くと、むしろ制度上からは我が国の方が進んでいる点もあって、あながち世界の趨勢におくれていると云えない反面、西欧諸国が志向している方向もはっきりくみとれるので以下に紹介しよう。

「ノルウェー」 大都市及びその周辺地区には五才から六才までの子供のために一群の幼稚園がある。公立は一つもなく、凡て私人によって維持されている。幼稚園は教育施設であると同時に福祉施設であり、即ち両親が子供をそこへ入れる理由の一つは女中、下男の不足にあるからである。多くの幼稚園は月謝を徴収する。

「スウェーデン」 曾って家庭が就学前の子供の教育を引受けていたことは自明のことである。その後裕福な家庭は私立幼稚園の施設を利用し初めた。就中、高等学校付属小学校の付設幼稚園において。然しここ数十年來は多くの母親が家の外で職業につくことが次第に一般的になって、そのために沢山の保育所 Kindertagesheim や幼稚園が家政協同組合によって設立され、又商工業企業体からも、官公団体からも、更に私人からも設立されるに至っている。

これらは教育官庁の所管ではなく、社会福祉施設とされているが、実際のところは純粹に教育的目標を追求してい

るのである。幼稚園はいわば典型的な都市現象であるが、都市においても未だ保育所や幼稚園に收容される子供のパーセンテージは極くわずかである。現在の學校改革案は就学前教育の拡大を見込んでおり、近く公學校制度の一部になるうとしている。

「イタリー」 幼稚園は公立ではなく、私人、民間団体、殊に宗教団体から維持されている。就学の義務はなく、国は幼稚園教育プログラムを規定して、その経営を監督するだけである。

但し幼稚園教員は小学校八年修了後四年課程の養成を受けていねばならず、国は五つのかかる教員養成所を經營しており、約三〇の施設は国の認可をうけた私立幼稚園教員養成所である。

一九四九年現在で一〇、八七五の幼稚園、一九、三六四の組、八六二、七六一人の園児をもつが、都市及びこれに準ずる町に多いことは勿論である。

文部省は全国にわたって幼稚園の就学義務を導入することを企圖しており、一般の人々の見解も幼稚園は小学校への予備段階として必要であるとしている。就学は無料ではない。文部大臣は近く議會に対し幼稚園義務制化と国庫補助を内容とする法案を提出する意圖である。

「イギリス」 幼稚園（ナーサリー・スクール）は二才から四才まで、幼稚級（ナーサリー・クラス）は三才から四才までであり、前者は独立施設として、後者は小兒學校（インフアント・スクール）の中に、又は初等學校（プライマリ・スクール）の中に、特に付設された施設として運営されている。その目標は子供の規則的な、健康的な、變化に富んだ、楽しい生活を打ちたてることであり、固定した時間表によらず、あそび・物語・音楽・易しい工作・休息と云った時間でみだされている。読み、書き、算の教具も備えつけられているが、子供に強制することはない。しかし幼稚園・幼稚級は凡て公學校系統の一部であり、先づ第一義的に教育的課題を果たすべきものであって、公立施設は無月謝である。

「ベルギー」 幼稚園は三才から五才までの子供を收容するもので、就学は随意であるが、それにも拘らず殆んど凡ての子供は幼稚園を経ている。即ち三才から五才までの子供の總数三三六、八二九人（一九四九年度）の中で、二七

二、二六四人が入園している。現在は四、〇六四の幼稚園があり、公立幼稚園が七七、四九八人の園児、認可私立幼稚園が四七、四八七人、準認可幼稚園が四七、二七九人の園児を入れている。

「ドイツ」 都市、準都市に多いが幼稚園は三才から五才までの子供を収容する。現在のところ公学校系統に属していないが、進歩的な諸州の州憲法又は州学校法では、公学校系統に属されるべきことが要求され又は言及されている。

幼稚園は地方自治体、宗教団体、労働団体、工業組合から、又ある場合には私人から維持されている。入園はもとより随意であるが、個々の地域について見ると、四才と五才の全子供の五%から二〇%までとなっている。両親はその資産からして可能な限り、若干の経費を負担する。地方自治体は民間施設に対し、相当多額の補助を支出しており例えばフランクフルト・アム・マインの如きは一園児当り年額三〇〇マルクに達しているものもある。

厚生省関係では住宅難、恵まれぬ家庭環境、多くの母親の教育力の不足、増大する女性の職業従事傾向の現状にあって、大多数の幼児の福祉と教育のために演ずる幼稚園の役割に関し、特に北ライン州、ウエストファーレン州において特別の関心を寄せている。

「オランダ」 いまのところ大多数の子供が幼稚園に入園しているが、未だ法的規定はない。然しこの事情は間もなく変るであろう。それは就学前教育に対しても法的基礎を与えるべき一つの法律が目下立案中であるからである。五の市当局が市立幼稚園（二三九園）を維持しており、残りは教会立であって二、四二五園を数える。現在の園児総数は二八九、七三八人で該当年令児の六六%になっている。都市地区ではもっと多く八〇%に達している。大概の幼稚園はフレーベル式であるが、残念ながら若干は——殊に農村地方には——その教育的方法が確立していず、子供を預かっているだけのものもある。凡ての幼稚園が若干の月謝を徴収する。

「スイス」 幼稚園は大体において地方自治体・民間団体の任意施設であり、有料・入園随意である。月謝収入を超える支出の一部分は公的財源から補助金によってカバーされる。幼稚園は都市にも農村にも同様に存在しており、一部の地方では二才又は三才から収容しているところもある。一般的には早くて四才からである。幼稚園は元来が私人によって設立された由来もあって、多くの場合、殊にドイツ系地方では公立学校とは直接の関連なしに存在している。

これに反しフランス系地方では一般に学校系統の中に組入れられており、例えばジュネーブ及びヴァーランドでは幼稚園の最年長組を初等学校の第一学年として取扱っており、従つてこれを修了したものは初等学校第二学年に進むのである。福祉目的と教育目的とは目立つことなく相互にからみ合い、くみ合っているが、次第次第に教育目的の方にアクセントがかかりつつある。

「フランス」幼稚園（エコール・マテルネル）及び幼稚級（クラス・ザンファンテヌ）——二才から五才——は小学校行政に従属しており、三段階に分れている。最年少組（二、三才）中級組（四才）最年長組（五才）である。幼稚園は六時間開かれており、月謝は徴収されない。教育プログラムは、あそび、唱歌、図書、話し言葉練習、朗読、道徳的宗教的教育などである。

「デンマーク」保育所（幼稚園とあるが、そうは訳さない。筆者）が保護施設として認められており、労働省・社会省の所管となっている。従つて公学校系統にはもとより属さない。大概は私立施設であるが、総経費の三〇％だけが国政府によって負担されている。市立施設は市行政当局が少くとも総経費の三〇％を引受けているときは、国政府から四〇％の額の補助金を受ける。両親から拠金されるべき金額は収入の高低によつて（月三〇——四〇クローネ）定められる。保育施設は都市だけに存在しているが、それでもその数は少なすぎるため、幼児の保護に十分ではない。

× × × × × × × ×

さて我が国をふり返つて見る。「家の子は幼稚園で……」と話しかけられて、何と云う幼稚園か確かめて見ると、それが保育所のことであったり、「幼稚園の保母さん」などと云うことは、相変らずよく耳にする言葉である。幼稚園が学校教育法の中で明確にその位置を規定され、以前に比べて幼稚園に対する認識が深まって来ていると云つても未だ一般に徹底しているとは云い切れないことである。しかし就学前教育の重要性をもっともっと一般の人々がよく理解するようになったにしても、おそらく幼稚園と保育所の混同は今のままではあとをたたないであらう。その理由は何と云つても幼稚園と保育所とが一面において共通の課題を持つていることに他ならない。このことは前述の西欧

の例を見ても明らかであり、今後は幼稚園と保育所の機能をもっと別々のものにしてしまふか、又はこの両者を大所高所から考へて何らかの形で統合し、合理化するかしない限り解決されないことだと考へている。ここではその論議にはふれないが、ソ連が後者の方向に立つことは衆知のことと云えよう。

先達て四国へ出掛けた折、鳴門市を訪れて実に感心したことであるが、同市は凡ての幼児が幼稚園を経て小学校へ進んでいる。ここまでの例は、他所でも見受けられることだが、この市の幼児はその上に二年保育を受け得るようになっていたのである。それは幼稚園が少くとも就学前二年児をも保育するのだから、その本来の使命を果すものではないとの信念に基づいているのである。勿論そのためには、例えば精華幼稚園のように狭い園舎を工夫して、いわば二部教授でなければ一般には収容し切れないような多数の園児を収容して教育しているのである。しかも同市には別に保育所も相当数設置されているのであつて、私は同市の幼児教育関係者（教育委員会、教育長、園長）の識見に心からの敬意を表わすものであるが、おそらくこのようなことはむしろ珍しいことと云うべきであらう。

かと云つて或る県が保育所一本槍で進み、それに幼稚園の機能をも果させている場合、もしそれが就学前二ケ年までの幼児の殆んど凡てを収容し得ると共に、更に下つて乳児保育にまで進んで行くものであれば、それもその限りにおいては結構なことと云える。

然し現状は例えば広島、石川、東京のように私立幼稚園が圧倒的に多いところがある一方、北海道、香川、徳島、山形のように殆んどが公立幼稚園のところもあり、高知、愛媛、山梨、長野のように幼稚園数が少なく、保育所が優位を占めているところもあると云つた次第で、就学前教育施設はおそらくその質の点から見ても千差万別であらう。又数の上から云つても現在は就学前教育施設が必要に應じ切れない状況と云える。

ただし大都市などでは幾つもの幼稚園に志望しておいて結局そのどれか一つに入園する傾向も出て来ているので、又志望者がある特定の幼稚園に集中することもあつて、表面に現われた志望者数がそのまま眞実の志望者を意味しない場合がある。それどころか東京都の一部ですでに幼稚園の濫立現象が現われて園児数が定員にみたないところも出て来ている。

しかし反面には或は近距離に施設がないためとか、或は保育料その他の費用を負担し切れないためとかで、内心では志望していながらそのまま何の意志表示もしない、いわば潜在志望者の数も案外大いのであって、現に一部の地域ではデフレの影響で子供の幼稚園入園をあきらめている事実が出て来ている。又保育所に関しては数年来の施設の増加と、国家の補助金とのアンバランスから、本年度は実質的な保育料値上げが予定されており、ここにも大きな問題がはらまれて来ている。

このように見てくると、形式的には学校教育法、児童福祉法によって幼稚園と保育所の制度は一応確立されているわけであるが、実際には未だこんとんの状態にあると云う他ない。このこんとんは、例えば幼稚園、保育所を二本建にするにしても一本化するにしても、もっとすっきりしたものにするとか、潜在志望者のために公立幼稚園を増設するとか私立幼稚園に補助金を交付するとか、更にすすんで全般的に保護者負担額を軽減する方策をとるとか、幾多の努力によって克服されて行かねばならぬことは勿論であるが、何よりも先づ保育所をも含めて就学前教育施設が凡ての幼児を収容するように拡充強化されて行くことを第一義的に考えて行くべきであろう。

▽日本保育学会(第八回)大会△

期 日 五月二十一日(土) 午前九時より故倉橋惣三先生の追悼会を致します。(日本幼稚園協会・日本保育学会共同主催)

五月二十二日(日) 午前八時半から午後四時まで

会 場 お茶の水女子大学講堂

内 容 研究発表、シンポジウム、共同研究(幼児の発達調査)発表

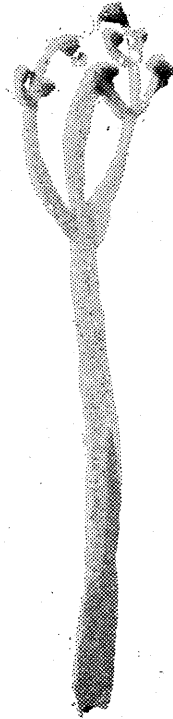
資 格 正会員、準会員、臨時会員(当日受付)

連絡先

東京都文京区大塚窪町
お茶の水女子大学児童学研究室

日本保育学会準備係

新入園児と集団教育



N.T.

久 米 光

四月に幼稚園へ入った子供が、入園当初は大変緊張して、ある子供など家庭に於ける時とは全くちがった状態になることさえ見受けられます。然し一ヶ月か一ヶ月半位経過すると大分様子がかわって来ます。

よい面としては初めての社会生活にも少しづつなれてきて、あたりの雰囲気や友達との交渉にも漠然ながら理解が出来るようになります。その結果何か安心感をもつことによっ

て気持ちにゆとりを持つように感じられます。

まづい面としては、異常な緊張をもった反動としてのけん怠、一応よそいきになつて自分のからが取れて又元のわがままな子供にかえつたゆるみでありましょう。

この時期に如何なる保育をしたらよいかと云うことが編集部から呈出された問題であります。

△ 誰もが通る自然な状態

そこで第一に考えられることは、子供がこのような状態になることは自然であると云うことです。勿論子供の氣質により、又家庭に於いての——主として母親の——取り扱い方しつけ方、又環境によつて個人差は相当ありますが、よかれあしかれ一応は誰もが通過する状態であります。

△ 保育の土台

一方に於いて、保育者にとっては、この一ヶ月乃至一ヶ月半の間は、未知の子供の一人一人に親しみ一人一人を観察して、身心の発達の上から、性格の上から、種々の方面からの傾向を知る期間であります。この意味ではよく泣く子供、駄々をこねる子供は真先に保育者と親しくなります。子供を知ると云う土台なしには保育を進めていくことは出来ません。本当に子供を知つてはじめて今日の保育があり、今日の保育は、明日の土台となり、明日の保育は今日の保育の上に立てられるのであります。

殊にこの時期になれば入園当初のように、子供が泣いたりむづかったりする事で、わづらわされることが少くなりますから、尙一層子供を知る余猶ができてきます。こうして幼児全体として如何に取り扱うかと云うことより前に、一人一人の状態に應じた保育が必要なることは当然であります。したがって保育の実際としては、まず次にあげるような心遣いが大切ではないでしょうか。

△ 保育者の心遣い

一、毎朝子供はどんな顔をして登園するか。今日も目を輝かし喜びにあふれて「おはよう」をいったか。何か目に力なく皮ふが弛かんで元気が少くはなかったか。

二、登園してどう云う行動を第一にするか。今日もあれをしようと意気込んで遊ぶか。鉄棒とか砂場とかブランコとか——があるか。すぐお友達と仲間になるか或いは漠然としかも楽しげに園内を歩きまわるか。それとも先生の手にぶら下らないまでも側をはなれられずにいるか。

三、部屋に入った時、おちついて先生の話

をきくか。どの位の時間つづくか。すぐ注意がみだれてお手洗いにいきたがつたりするか。

四、その子供が幼稚園で一番興味をもつことは何か。おはなし、リズム、うた、外あそび、内あそび、おしごと、それとも何にも大して興味をもたないか。

五、友達とどう生活したか。交渉がうまくいったか。

六、朝にもまして発らつとして元気一杯「さようなら」をしていったか。疲れたような様子ではなかったか。

△ 子供を知ることが保育の第一歩

こんな事を先生は毎日みのがすことなく注意しなければならぬ。そこから保育者の得られるものは、子供が何を喜び、何を望んで居るか。又何が不満であり、何をおそれいるかどんな癖をもっているか、等々、子供の長所短所を知ることです。かくして子供を知ることが保育の第一歩であります。

△ 勉強する先生

知ると申して、勿論外にあらわれた事だけでは不十分です。

幼児の心はどう発達するか。発達の心理はどうであろうか、発達にはどんな型がありどんな波があるか、又正しい発達とはどんなものか。子供の健康——身体と共に精神の健康をもふくめて——についてはどう考えるべきかと云うような事についても充分勉強しなければなりません。そうしてこそはじめて子供の年令に應じての興味や欲求のめやすもわかり、一方では不必要な心配や焦慮をすることがなくなります。従って保育に無理がなく、むしろゆとりのある生々したものになるでしょう。こうかいて来ますと、問題から遠くはなれてしまったようですが、実は根本的なものはどんな場でも大切であります。むしろ日頃の精進こそよき保育、臨機応変の指導となつて役立つと云うものです。その意味で保育者は常に勉強する者でなければなりません。

△ 深い信念と静かな愛をもって

又子供はあたりの空気を感じとることに実に敏感です。自分が先生から又友達から可愛

いがられているかどうか、周囲の人達が平和に信頼しあって生活しているかどうか、直感的に感じるものであり、そのことは子供の生活に大きな影響を与えます。ですから保育者が常に深い信念と愛をもって、いつ如何なる時にも動じない静かな態度とどんな子供をも抱き得る暖かい心を身につけていることは最も望ましいことです。また同僚の間が平和であり、お互いに力を合わせあっていることも大切であります。

△ 幼児を尊敬し仕えるような謙遜さ

と同時に幼児を一人の人格者として、尊敬をもって之に仕えていくような謙遜を持ち度いものです。これは私の親しい友人から聞いた訳ですが、かつて友人が植物学者として有名な牧野富太郎博士にしたがって度々採集に行かれた時のこと、博士は小さい雑草を探られる際にいつも「その植物を通して真けんな研究をすることが出来てありますか」と云う折りをもちて必要なだけのものを採集され、後には静かに土をかけ、一歩下って目札されたと云うことであります。又小さい参加者が

「これなーに」とおたずねする毎に、大人に對するのと同じ態度で「何々」といいねに教えられたそうであります。小さな草一本に對しても幼き者に向つても、相手をおろそかにせぬこの真鍮にして謙遜な態度、これこそ保育者が真に学ぶべき態度と思います。どんな境遇の子どもでもどんなに知能の低い子どもでも又どんな問題ある子供でも、保育者にこの態度がある時、自らよい結果が生れることは当然でありましょう。

△ 自然にしたいむ

さて誰もが通るこの状態になった頃、自然は生々としています。木の新芽は日毎に緑をまし、田圃にはれんげの花さき、蛙なき、蝶や蜂は花から花へとびまわっています。その時、土に親しませたり草花の世話をさせたり蝶や蟻と遊ばせる。園内で又時に園外で、それは最も有効な保育の一つであります。

△ 折りをもちて

二度とかえらぬ今日と云う一日を幼い者と共に過す時、子供達のよき成長に微力をつく

“近刊”

幼児の劇遊び集

A5判 約二〇〇頁

当幼稚園において、実際に幼児に遊ばせてみて、有意義だつたと思われるもの二十数種を、一卷におさめたものでございます。

近く皆様にお目かけられると存じております。

昭和三十年六月

お茶の水女子大学附属幼稚園内
幼児教育研究会

することができるよう、幼児一人一人の魂を少しでもきづつけることのないようにこの心からの折りをもって今日の保育をする外にどんなよい道があるでしょうか。保育者自身が自らの力で保育をしていくには、保育と云うことは余りに偉大な又むづかしい仕事です。

(松沢幼稚園)

教育實際指導研究會

保育の問題点とその対策 (保育内容とその指導)

催 児 童 教 育 研 究 会 賛 教 育 学 研 究 室
(お茶の水女子大学文教育学部附属小学校内)
(お茶の水女子大学文教育学部内)

主 幼 児 教 育 研 究 会 協 児 童 研 究 室
(お茶の水女子大学文教育学部附属幼稚園内)
(お茶の水女子大学家政学部内)

今年度の教育實際指導研究会は「^{保育}育の問題点とその対策」という標題の下に研究をすすめることになりました。幼稚園教育現在の問題としては、保育内容を明らかにすること、並にその指導方法を如何にするか、ということが目下の問題ではないかと考えました。そこで今回は、この問題についての研究の實際を公開し、あわせて研究協議会を行うことに致しました。

今年も多数の方々が御出席くださいますようお待ち申し上げます。

日程 昭和三十年六月九、十、十一日 (詳細別表)

講演 及び 発表

講演 ベ斯塔ロツチの政治思想

お茶の水女子大学長 蟻山 政道

最近の学習心理学 教授 波多野 完治

転換期に直面する学習指導 助教授 吉田 昇

クラス内の社会心理 助教授 水原 泰介

幼児の発達と保育 助教授 津守 真

発表 幼児の交友関係の考察 附属幼稚園教諭 村井 トミ

幼児の発表力について 附属幼稚園教諭 関 治子

幼児と自然 佐々木 淑子

文学指導について 附属小学校教諭 生駒 正美

地理的指導の問題点 深山 かつ子

算数における函数指導の問題点

音楽学習指導体系の要点

家庭科指導の問題点

健康管理の實際

牧野 敏子
 福田 静子
 富平 美喜
 岩丸 茂雄

▷昭和30年度実際指導研究会日程表◁

日	6月11日(土)	6月10日(金)	6月9日(木)	日
会場 時間	幼稚園 小・中・高 (参観)	幼稚園 小学校	幼稚園 小学校	会場 時間
			開会のあいさつ	8.30
		小学校	研究会案内	9.00
9.00				9.10
		実地保育	実地保育	9.20
9.40	分科研究協議会 (保育内容とその指導について)	小学校	小学校	10.00
9.50				10.10
				10.50
10.50			講演(講堂) 波多野教授	11.00
11.00	講演(講堂) 蠟山学長	協議会 発表表 佐々木 教諭	あいさつ (藤田文教育学部長)	11.50
12.00	閉会のあいさつ	昼食 レクリエーショ	昼食 シレク ンリエー	12.10
				1.00
		講演 津守助教授	村井教諭 発表表 関野教諭 発表表	1.30
		講演(講堂) 吉田助教授	講演(講堂) 水原助教授	2.00
		分科研究協 議会	研究協議会	3.00
		小学校	小学校	4.00

分科研究協議会

保育内容とその指導(健康、音楽リズム、社会、自然、言語、絵画製作)

会費 三〇〇円(研究会要項代を含む)

申込期限 五月三十一日(火)まで。会費は当日お払込下さい。準備の都合がありますので、必ず葉書にて申込み下さい。

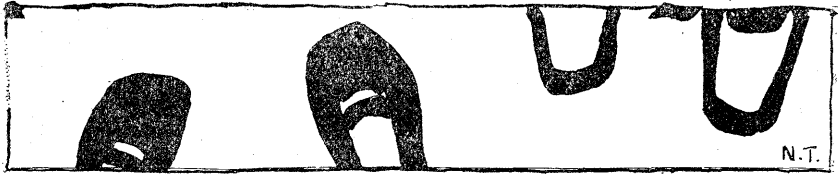
満員の際はお断りいたします。

申込場所 東京都文京区大塚町三五番地
お茶の水女子大学教育学部附属幼稚園内
幼児教育研究会宛

特

集

最近の入園状況



地区	人口	国立	公立	私立	計
北海道	4,295,567	0	4	67	71
大阪府	3,857,047	1	122	199	322
福島県	3,530,169	0	5	66	71
兵庫県	3,309,935	1	229	124	354

(第一表28年10月の調査による)

幼児教育振興対策の考察点の中から、一部を紹介し上げ、北海道の総合開発の中に、幼児教育の施設を、数的に把握して見ました。

北海道の場合

戸村 キエ

地区	面積	国立	公立	私立	計
北海道	km ² 78567	0	4	67	71
九州 近畿	km ² 69165	10	576	655	1241
四国 中国 九州	km ² 78799	11	941	679	1631

(第二表28年10月の調査による)

右表により、面積の広さ、人口の密度、幼児の施設数等、近似数の地域を対照してみました。教育は百年の計とか申しますが、北海道は幼年教育からと、願うものであります。

函館市の場合

函館市の特殊性

※施設の立場から

十園の中九園が私立であり、宗教団体が施設しています。

昭和 29 年 度				昭和 30 年 度				昭和 31 年 度			
一年入学予定 児童数	幼稚園 収容 幼児数	保育園 収容 幼児数	保育施設 収容 幼児数 %	一年入学予定 児童数	幼稚園 収容 幼児数	保育園 収容 幼児数	保育施設 収容 幼児数 %	一年入学予定 児童数	幼稚園 収容 幼児数	保育園 収容 幼児数	保育施設 収容 幼児数 %
(20) 6297	(9) 1500	(18) 1467	47.12 %	(20) 6234	(10) 1570	(18) 1467	48.72 %	(20) 6388	(10) 1650	(18) 1467	48.79 %

※ 人数の上の()内は施設数です。第三表28年10月の調査による。
公立(1)のみです。

※幼児教育の立場から

幼児教育の必要性が認識せられ、この二三年前より、実行期に入っております。第三表にて読まれる如く、保育施設数が少いので、競争率のほげしいことは此の道の先生方には、想像して戴けるものと存じます。

公立函館幼稚園の場合

①入園許可数

②受付方法

③競争率

三六年度 三三
三九年度 三三
三〇年度 三〇名

・定員に達した
場合受付を中止

・厳密な身体
検査後入園
許可をする

・此処二、三年
は受付開始より一時間内にして定員に達している現状です。

④問題点

・地域的に見て

幼稚園に近い地域より通園するのが、幼児のために安全であるのでそれを願っているのですが、通園区域が全市的に拡がる傾向にあります。

・社会層から見ても

結果的に見て、経済上恵まれた家庭が主

体をなしている感あります。

・幼児教育の立場から

幼児教育の義務制を念願している私共は特殊教育的傾向になりはしまいかと、恐れています。

(函館幼稚園)

福島県の状況

玉川喜代子

「幼稚園も狭き門、若松およそ二倍半」と云うみだしで、二月五日附の「福島民友」

紙上に受付風景が写真入りで、トップ記事として、報道されましたが、この事は独り若松だけの問題でなく、正に全国的な、重大問題として考慮さるべきものと思います。

文部省が、十年後には、全員収容の見込みとラジオで放送されましたが、一刻も早い、解決策をと、いとけない幼児の代弁者となつて切に念願する次第でございます。

我が会津若松市には七ヶ所の幼稚園(全部私立)があり、その入園状態は、

会津幼稚園	定員	募集人員
行仁幼稚園	〃	一二〇名
聖愛幼稚園	〃	一二〇名
サベリア学園 附属幼稚園	〃	六〇名
若松第一幼稚園	〃	三一〇名
若松第二幼稚園	〃	一七五名
若松第三幼稚園	〃	一四〇名
合 計	九二五名	一〇〇名

これに対し、本年度満五才になる幼児数は旧市内丈で、約一、七〇〇名、内入園希望者は一、二〇〇名、外に四才児で、五〇〇名もあり、入園できるのが八一〇名と限られて居ります故に、二月一日受付開始となりますと一日で、補欠まで、満員となる状態でございますので、入園できない方々の中には、「親子兄弟十二人もお世話になって十三人目の末っ子が、入園出来ないと云う方はない」と凄む方、「どここの隅っこでも」と泣きくどく方有力者を頼んで、おいでの方々など、親の愛

情に、涙なしでは居られません。

△

更に我が福島県下を見渡しますと、公立一九、私立(分園十二ヶ所を加えて)五二、ありますが、その殆んどが、申込順で、テストを行っている所は、公立では福島市立の九園と、私幼では、郡山市のマリア幼稚園一園丈でございます。

中には福島市立第一幼稚園(園長木村ふさ)の場合は、昨年度(本年度この稿まで不明)五三〇名の希望者に対し、定員一八八名のため、身体検査、面接、テスト、の後、身体障害者、精神薄弱児、極端な内向性若しくは外向性の幼児を不合格としたとの事でございます。又抽籤による所、常磐市立吹矢幼稚園がそれであって、嬉しいお便りは喜多方市立の三六〇名の定員に対し、四〇三名の希望者のため、二室増築して、全員収容されると云うお話でございますが、かつて一園二百人まで

と設置基準にありました通り、神経系統の整わぬ幼児が、余りにも大勢の生活に堪え得るかどうか、堀り下げて考える時に、又しても大きななやみにおつつかるわけでございます。

△

昨年別府で、全国私立幼稚園の大会がありました時、この入園希望者対策につき、問題として提出いたしました。そして皆様から、いろいろとお伺いいたしました。誠に今昔の感に堪えないものがございますのは、今より十年二十年前は、文字通り、園児を、募集して、居りました、又幼稚園に送る保護者も、お金を使うからとか、うるさいから、といったものも相当ありましたが、この両三年は、保護者の方々が、社会性を養って貰いたいから、と云う工合で、参観に見えても我が子供がどんなによく、お友達と遊んでいるか、と云う事をまづ見られるようになりました。こう云う事は幼児教育に対し理解され、真剣になって来られた事を意味するもので、ラジオ、新聞、雑誌なども、之に対して、大きな役割を果たしたと思います。従つて幼稚園と云う場所が大きく取り扱わ

れるようになった事は、喜びに堪えない事でございますが、その意味に於ても、幼稚園側もよく自覚し、研究し、以て受入態制の準備を充分にすべきで、ございいます。

そして私は、テスト、抽籤を行わずに申込みに応じて一人も残らず入園でき、大手を拡げて、幼稚園生活を夢見るいとしい幼児を迎えたい、そうした世の中の早く来る事を、重ねて、幼児に代って、深く深くお願いいたします次第でございます。

(若松幼稚園)

新潟県の状況

長谷川増吉

本県も近年入園志願者の増加するのに対しその施設が伴わず、困難しているのが実状です、次に県下の主な幼稚園の状況をお知らせします。

一、入園志願者と入園許可者数

園 名	二十八年年度	二十九年年度	三十年年度	選 抜 の 方 法			
	志願者数 入園者数	志願者数 入園者数	志願者数 入園者数				
新大附属幼稚園	八二	三五	八二	三八	六〇	三五	身体検査と精神検査の結果、不適格者を除き、抽籤によつて入園者を決定した
新潟市立沼垂幼稚園	三九四	一六八	四一一	二八一	三二五	一八〇	
村松町立幼稚園	二八五	二八五	三一九	三一九	三〇〇	三〇〇	身体検査と精神検査の結果不適格者を除き、その他全員入園許可した
高田市立幼稚園	二九八	二八一	三三三	三三〇	九三四	二一三三八	
備考	三十年度は見込数						同 右

二、この実状に対する対策として、次のようなことが行われています。

1、幼児教育の必要に対する一般市民の認識と、文部省の振興策とが相まって公立幼稚園の新設を見るに到った。

新潟市、高田市、新津市、新井市、直江津市等

2、既設の園舎の増改築を行つて、収容力を増加するようにしている。

新潟市、高田市、村上市

3、幼稚園教育を小学校就学前一年の幼児のみに限り募集し、少しでも多くの者にこの教育の機会を与えるようにしている

4、一組の幼児数を増加したため、保育に困難している所もある。

新発田市、高田市

三、根本的には次のようなことを実現するようにして、幼稚園施設の拡充につとめることが必要です。

1、市町村合併によつて今までの市街地帯と農業地帯とが一つになったので従来の小学校通学区を再編成して、市街地の小学校々舎に余裕を持たせ、ここに幼稚園を併設する。

2、市町村立学校教員給与負担法を改正し

て幼稚園教諭の給与を興費支弁とする。

(高田市立高田幼稚園)

群馬県

わが園に於ける入園状況

中島 研六

与えられた問題こそ、実は多くの方々からお聴かせ願いたいことだった。師範学校卒業以来、童話ひとすじの道を歩んできた私は、毎日話がしたいばかりに三十二年の小学校生活をふり捨てて、四年前に幼稚園長にとび込んで来た。つぶらなる瞳みはりて吾が語るお伽噺に興ずる子供達を思うにつけても、せまき門に対処する入園時になると、寒さむとする思いがするのである。

私の赴任した翌年の二十八年度の募集に際しては、教育長並に教育委員と協議して、従来の申込順を排して、一年保育優先、定員超過の場合は抽せん制をとることにした。

申込前に保護者会を開き、そのことをハッキリと申し伝え、併せて有力者に頼るとか、

教師の私宅訪問をするが如き事前工作は、公明入園に対して絶対に避くべきを力説した。

この年は、一年保育者だけで二百八十名、居残った二年保育者と合体して三百八十名、従来の収容人員よりは四十名超過の多数になったが前年入園にもれて、待たれていた幼児達のことを考えてそのまま入園を許可した。

二十九年度には、遊戯室が長い間教室に当てられていたのを開放していただいたために募集人員を三百名とした。入園児激増に対して逆コースをとったようであるが、保育上支障をきたす点が多かったのを痛感し止むを得ず人員を少なくした、それに一年児は募集人員とすれすれと瀬ぶみしたのである。

幸いことに予測は適中して、申込者は二百八十一名であったため、二年保育を十九名は採れたのであるが、一組を構成する上に不都合を感じて抽せんを断念した。

今年も亦同じ定員で募集したところ、この二、三年のうちに保育所並に幼稚園が増設されたため、二年保育者は入園出来ぬものとあきらめたり、抽せんを恐れたりして他園に申込まれた方が多かったこと、更にこの年頃から出生率が減少の傾向を生じ始めたこと等で

二年保育者も全員入園出来ることとなり、ホット胸をなでおろした次第である。

しかし、入園難の解消の喜びの裏には、当園の近くにはないが、簇生乱立の結果、経営上人員獲得策という新たな問題が、各地に出現しつつあるとのことである。

それは入学の準備として文字教育をしていることである。国語学習法(このことに就いては具体的に述べねばならぬが)を無視して孤立的に一字一字を丹念に書かせ、ひらがなはいうまでもなく、カタカナまでも教えているという。算数に於ても然りで、数字を書かせているのである。つまり基礎を培うことを忘れて、よい成績がとれるかと思わせる。換言すれば、母親の歎心をかう保育が行われつつある現状こそ、かつて小学校教育にたずさわっていたことから、この除、立ちあがって排撃しなくてはならない。

(高崎幼稚園)

× × ×

— 茨城県 —

幼稚園園児選抜について

関 博

近來幼児教育に対する世の関心と理解が深まった結果、年毎に幼稚園入園希望児の増加を見、公私立幼稚園がその数を増しつつあることは洵によろこばしいことである。

茨城県はこの方面の教育は余り振わないが水戸市には旧市内六小学校全部に附屬幼稚園があり、一年保育ではあるが一〇〇名乃至一八〇名の園児を収容している。そこでどの様な保育が行われているかはしばらくおき、園児選抜の状況について記して見る。

市内六園大同小異であるので私の園の實際について云うと、昭和二十八年度は八〇名（二組編成）の採用に對し応募幼児が一六八名あったので、第一次選考で一五〇名を選び第二次選考でその中から八〇名を選んで入園を許可した。

第一次選考では、

父兄の面接で、家庭の状況、入園の理由、

志望の確否、幼児の性格、園に對する希望等を調査し、次に

幼児の個人面接で

形（丸、四角、三角、長四角の名称）

数（一から一〇までの数觀念）

色彩（三原色の名称）

大小（形の大小と數量の多少）

言語（氏名、年令等）

常識（絵本を見て話す）

運動能力（肢体不自由を見る程度）

を調査、

身体検査で、

耳鼻、咽喉、眼疾、皮膚、栄養、其の他の

疾病、養育等の検査をした。

以上を綜合して伝染性疾患、肢体不自由、

言語障害、極端な性癖、經濟的負担の難易、

入園に對する熱意等を判定し一八名をふるい

落した。

第二次選考では公平な選抜について種々考

えて見たが、同一条件では抽選以外に良い方

法はないとの結論に達し、抽選によって八〇

名を選んだ。その結果を反省して見ると、公

平と云えば公平であるが、落ちた者の中に入

園の熱意の強い者があり、入つた者に比較的

園に對する意識の弱いものがあるなどの矛盾も生じてしまつた。

幸い次年度からは園舎の増築によつて一三〇名の採用が可能になり、第一次選考だけで応募者の大部分を入園させることが出来る様になった。

しかし義務教育でない幼稚園には選抜の問題はどこまでも残るので、設備の足りぬ限り希望者全部を入れることが出来ない。又第一次選考で条件の同じ者を揃える為の父兄並に幼児の面接であるがこれの正確度が疑わしい。家庭で準備でもしなかつたら、知つて居てもテストに答えられなかつたら、何かの都合でいやになつてだだをこねたり、医師に對する恐怖心で身体検査に應じられなかつたりすることもあり得るので、そんな者を簡単に外すことがよいかどうか。考え様によつてはその様な社会性の足りぬ子供程、わからぬ子供程、負担の出来ぬ家庭の子供程、却つて教育してやるべきでもある。三十年度についても約三〇名を外したが、何が後味のスッキリしないものがある。

（水戸市立三ノ丸幼稚園）

——埼玉県——

入園状況の検討と問題点

長沼 依山

銓衡状況

昨年の夏、第一回の日私幼大会が九州に開かれたとき、関西と東北の二三県から入園児の選抜問題を中心として、研究議題が提出されたので、私幼本部ではこの対処策をたて解明することになっていたが、偶々当時の会議の情勢では、各県とし、むしろ逆に如何に園児の増収容をはかるべきかの傾向が強いというのでこの論議は中止され、ついに現われずじまいになってしまったのである。つまり志望者が多いときには銓衡事情がいろいろ研究強調されるが、少くなれば問題は低調となる所以にほかならないのである。

しかし、園児を収容するにあたって、たとえ、入園児が減少しても、その緩急こそあれ各園で適切な措置をとっているのではないかとおもう。

当地方で入園志望者の数字が最も上ったのは昭和二十七年で、所謂幼稚園全盛時代であった。即ち昭和二十二、三年の出生児が非常に多く、従って幼稚園においても志望者順に入園許可していたものが、俄に選抜方法を厳にしたり対策をたてたりしてこれが善処を講じたものもあつたようである。その頃から浦和地区でも少きは一倍半から多きは三倍半位に達し、各々選抜方が行われているが、大凡左の如くに収約できるであらう。

A 幼稚園、願書受付順に許可するもの、
 B 幼稚園、体格検査だけを行うもの、
 C 幼稚園、テストによつて八十五%程度を選び、それを抽籤によつて決定するもの、
 D 幼稚園、知能テストに常識を加え、それに家庭調査を行つて決めるもの、

だいたい上記の方式のうちその地域の状況に応じて適当に行っているが、県北地方では恐らくAかBの方法をとっているものが多いと想像される。二、三年前右の方法を取捨勘案し、地区的だけでも協定をはかうとしたが、幼稚園には各々その特性があつて、而も環境事情が異つているため、これを統一するのは、到底、難しいことである。

問題点の一、二

園児数の状況を概察すれば、在籍者全体が年々、相当にふえているのは園数の増設に伴う結果で、しかも、出生数は漸次、減少の一端をたどっているのは、幼稚園としても、十分注目し考慮を払わなければならないことであらう。

年次	本県出生数	浦和出生数	本県園児総数	本県幼稚園数
22	七、七三七	四、一〇〇	—	二九
23	七、〇八七	三、六七三	三、〇四六	三〇
24	七、八五五	三、一〇三	三、六九〇	四四
25	六、〇三五	二、七四九	四、三九七	三三
26	五、七四四	二、三六	五、八九一	六八
27	五、八四四	二、二八九	八、八一七	六九
28	四、八六六	二、二五	二、一五五	八八
29	四、四六	—	一、〇四九	一〇七

備考、この表示以外に公立三園あるが一園平均二百五十人程度を収容している。

この表示によつて、出生数を昭和二十二年と本年を比較すれば、県全体として三分の一を減じ浦和市としては二分の一を数える状況であるが幼稚園数は却て三倍強となつて、さらに相当の園児を収容しているのは、一般の認識や理解度の向上と機会を得られたことによつて、それを補っているのである。

本年の実情は、各幼稚園とも入園希望率が前年より減少し、多いといわれるものも一倍半か、二倍、少きものは定員に充たないものも現われてきたのは、幼稚園の将来何を物語るものであろうか。従つて選抜に苦心を要することなども自然に解決されるものではないかと思ふのである。

而もなお、四、五年後、各小学校児童の減少の結果、空室ができたときは公立幼稚園の増加は必至で、私立幼稚園運営上の大きな問題点になるであらう。

今一つの問題は、小さな無認可幼稚園が県南地方に十ヶ所をみるに至つて、目下、県で鋭意対策をはかつてゐる所である。

(浦和幼稚園)

東京都に於ける

幼稚園の入園状況

笠原 秀定

戦後に於て、幼児教育の重大性が段々深められ、幼稚園に入園することを希望する者が非常に多くなつた。それに伴つて東京都内に於ても、幼稚園の設置が最近急激に増加して来た。然しここ二、三年と云うものは何れの施設も希望者全部を収容することは出来ない状態であつた。戦前より施設数が増加しているにも拘らず希望者を収容しきれないと云うことは、幼児数の多くなつたことにもよるが一般に幼児の教育の重大なることを認めてきた為である。従つて今以て東京都内に於ては毎月数園の設置を見ている、現在では私立だけでも約六〇〇園に達している。

然しこの入園過剰の現象は昨年度迄のことであつて、昭和卅年度に於ては、一部の園は別として一応入園希望者を収容しきれぬ段階になつたのではないかと思われる。

勿論地域的に見て幼稚園の必要を感じる処

もあるが、この二、三年の施設の激増によつて大部分の入園希望が満されて来たようである。近い処は四〇〇米位の距離に隣設されている処もあつて、適正配置が叫ばれる状態になつてきている。乗物で遠く迄通うことは決して望ましいことではなく、近くに幼稚園のあることが必要なことであるが余り隣接して設置されることも考えさせられる点がある。

本年度は地域によつては定員に満たないところもあるのではないかと思われるが、之はどこに原因があるか、施設数の増加の爲か、幼児数が減じて来たのか、又時局の影響か、はつきりしたことは述べられないが、一幼稚園に対する入園希望者数は二、三年前に比して減じていることは事実である。

私の園に於ても昭和二十七年度は約二倍の申込であつたが、昭和二十八年度は一年保育児は約四倍、二年保育児は二倍となつた。昭和二十九年度は矢張り二倍位であつたが、本年度に於ては一、五倍と減じて來ている。過去二、三年の間はこの園でも募集人員を相当上まわつてゐたことと思う。本年の減少は最近の急激なる施設の増加も一因であるが、幼児数も減じて來てゐるのではないかと思ふ。

入園児の決定についても私の園では昭和二十六年迄は主として申込順にしていたのであるが、余りに希望者が多くなった為昭和二十七年より十日間の募集期間を定め、応募者の中から同年令の幼児を月数により大小に分け二人乃至三人の教諭が一組となり個人テストを行い、年令相応の身体並に能力の発達程度を調べ、母親とも面接して選考することとしたのである。これは吾々としても心のいたむことであつて一日も早くすべてを入れるようにしたいものと思つてゐる。本年の状況から見ると施設の増加と共に、すべての幼児が入園出来る時代も来るのではないかと心が明るくなる次第である。

(明徳幼稚園)

× × ×
× × ×
× × ×

神奈川県幼稚園の

義務教育化

杉田 熊蔵

神奈川県内の幼児教育は多くは私立幼稚園が担当し公立幼稚園は三十年代は県立高校に付設されたもの三園と市町村立十三園、計十六園に過ぎないが、戦前二園だった公立が僅かの間にこれだけになり今後も急増の傾向にある。戦後急にふえた原因は幼児教育の大切なことが認識されたことは勿論であるが、子供を家庭に置いて貰い喰や、いたずら遊びで苦勞するよりも幼稚園にやつて置けば其の間だけでも家庭の仕事が捗るという保育所的な考え方も入つて、一石二鳥の意味が多分に含まれている事は見逃すことが出来ない。

私の園は町立として四十年の歴史を持つてゐるが、昭和二十五年までは独立採算でやつて来たが其の頃すでに曾ての幼稚園入園の状況が九〇パーセントの入園率で入学前一年は義務教育化されて来たので、独立採算制をやめて、小中学校と同様に予算的措置がとら

れる様になった。然し保育料は徴収している。

入園希望者が急激にふえたのは二十三年度からで、二十四年度は園舎不足の為選抜を計画したが、町立幼稚園で町内の子弟が入園出来ないのは不都合である。選抜を施行するなら先ず他町村から入園している子供を締め出せと強剛な異議が出てついに選抜をやめて全員入園させた。全員入園と云つても身体検査をして伝染性疾患のある子供はその病気が快癒するまで入園を延期し幼稚園教育に堪えられない体力の子供や、發育不良の子供は入園を見合させてゐる。

神奈川県公立幼稚園長は全部が兼任園長で町村立のものは小学校の機会を利用し、独立園舎を持つてゐるのは、現在秦野と大磯の二園だけである。

公立幼稚園の所在地には殆どが私立幼稚園のない所であるのと、園長が小学校の校長が兼務しているの、幼稚園に入園させることと、小学校に入学させることと関連して考へ義務教育的傾向を強めるではないかと思われる。私の手許に集つた資料によつて入園の状況を示すと次の様である。分母の数は入園志望者数、分子の数は入園者数。

幼稚園名	二十七年	二十八年	二十九年	三十年	備考
幼 稚 園	429	572	454	416	
奏 野 本 町	429	572	454	416	
大 磯 幼	178	301	282	290	
温 泉 幼	63	85	75	96	
前 羽 幼	121	134	121	110	
湯 本 幼	62	97	99	91	
酒 匂 幼		58	100	105	
諏 訪 幼		100	120	70	
県 立 上 溝	55	55	57	25	
江 南 幼	25	27	26	25	
	84	107	76	55	
				テスト	
				抽せん	
				テスト	
				抽せん	
				申込順	

資料の届かない所も町村立のものは希望者全員入園が建前である。

私の幼稚園には市制がしかれる前は他町村一町五ヶ村から、小田急やバスで来ている。現在も其の区域から来ている。隣に昨年一園出来、本年度二園出来る予定となっている。

(秦野市立本町幼稚園)

× × ×

静岡県 入園選抜について

高木 三吉

伊東市には、市立幼稚園(本園分園合わせ)四、私立一で合計五幼稚園があり、人口約四万の都市としては、幼稚園の数も比較的多く、入園希望者の殆んど全部を収容できることは、幼稚園教育の普及徹底を望む私どもとしては、誠に嬉しいことである。

本園は昭和二十三年野間教育研究所の実験学校として発足以来、二年保育を本体としているが、入園希望者の実情と就学前教育の重要性とから、一年保育も入れることとなって両方を募集している。年々応募者が増加するために、収容力に余裕があったので漸次定員を増加して、現在は二〇〇名。希望者が定員を超過する場合は、面接の結果によって判定する。

選抜方法、希望者が定員を超過するとならないとに拘わらず面接をする。この面接によって保育上特別な支障があると認められる者は除

く。問題の作製は野間教育研究所でし、実施に当たっては、同所員と、テストに堪能な婦人倶楽部児童相談所員に依頼し、職員と協力し、児童の観察に遺憾のないよう、充分な配慮をしている。

今年実施した問題は次のようなものである。

- 1、運動能力 片足で五秒以上立つ、片足とび、目として片足で立つ(いずれも右足左足)
- 2、数量10まで20までのかんじょう。ごいしの数、えんぴつの数。打叩計算8、14。
- 3、実語能力 口は何をする。足は何をする? 反対類推 おしおは白い、炭は? 絵の中の事物の列挙(武政びねーより)言葉の復誦。トカがつくことば。
- 4、空間と色 色紙の名前。四角三角の換写形の差異(武政びねーより)
- 5、社会性 名前、年、曜日、父母のしごと雨が降っているときは? 等、一番好きな歌を歌ってごらんさい。
- 6、家庭環境の調査(研究所主任担当) 父母との面接によって、この幼稚園を希望した理由、病歴、平素の教育について考え方、

しつけの担当者是谁か等を聞く。

7、園長と父母との面接 児童に質問しながら、父母とも話しあい、児童を観察し、家庭状況等にも注意してみる。

8、身体検査 疾病がある場合、入園前治療すべきものの注意をする。

以上のテスト並びに面接から、総点数を計算して、IQに相当するグレードをきめ、判定に資する。この結果は、入園後の保育上の参考としているが、大体に於いて、得た点数は、入園後、武政びねー式テストを実施（前記研究所員児童相談所員が行う）して得た結果と殆んど一致することからみて、かなりの正確度をもっていることが実証されている。

この面接は、右のように、単に選抜のためのものでなく、保育上の大事な参考記録として活用することに重大な意味がある。

（野間自由幼稚園）

× × ×

神奈川県幼稚園増加に

ついでに反省

本田 玄洲

近年幼稚園が各地に設立され園に關係ありますことが新聞や雑誌の紙上にも大きくクローズアップされるようになりましたが、これで幼児教育が充分普及され教育の機会均等がみたされたといえましょうか？ 幼児をもたれる家庭の方々はほんとに幼児の成長発達に心されて幼稚園に入園させられるのでしょうか。又幼稚園設置者はほんとに教育事業の尊さから出発されるのでしょうか。一部には解せない点も否めない事実であります。

何はともあれ幼稚園の数も増し園児の数も年々増加しております現象は或る面、幼児のよい教育の場、よい遊び場が出来たことはよろこばねばなりません。い。本年は入園希望児が少ないようです。これはここ二、三年の事象ともいわれています。

幼稚園教育本県の実情

本県は川崎、横浜のような都市から小都市町村にまで公、私立を共にして大体施設としては相当数を数えるようになりました。そこで今では適正配置といいましようかそろそろ考えなければならぬのではないでしようか。

小田原市の現況

幼稚園八、保育所八の施設が数えられますが人口僅か十二、三万の市では施設数よりもその内容の充実を考えるような段階と思えます。施設の増加を考えるならば旧市内よりも新市域に望みたいと思います。

本園の入園情況

本園は昭和四年七月に設立され當時は当市に僅か二園で百五十名以上もありましたが、二、三年して附近に出来たため六十名に減少しましたり又二、三年して他に出来ましたがこの頃は家庭でも幼稚園を理解し初め施設の増したのに八十名か百名になりました。処が大東亞戦争に入り県から戦時保育所に切替えるよう指令がありましたけれども、幼児教育の立場から幼稚園として苦しい経営をつづけ

てきました。

保育所としては附近に歴史も古い立派なものがありますのに県は県立女学校内に戦時保育所を作りましたとか復員してから聞きました。入園児の多かった昨昭和二十九年に比べて本年は減少をみるようになりました。

本児の入園選抜方法

募集して希望者の多い時はどなたも同じ喜びを感じ、少ない時は悲しい思いをされるでしょう。幸本園としましては募集期間中でも或る程度に達しますとしめきりますのではげしい競争率ではありません。

①入園につきましては保護者同伴で来園していただきます。

②当初、園長から保護者に、もし入園出来ませんような場合は子供と保護者と一緒に責任の一端がありますことを充分了解していただいております。

③先生方を二人一組にして三ヶ所、PTAの役員二人一ヶ所、園長、理事長(設置者代表)との一組、身体検査場一ヶ所、合計六ヶ所に一応希望園児と保護者に面接して定めた評価により評価されましたものを合計し

て可否を定めます(この間約二、三分、幼児の負担とならない時間を考えています)園長はじろり保護者を採点し、などという事はありません。どこまでも納得していただきます。

問 題 点

園舎の増改築、施設の向上などを考えますとき、私立幼稚園育成の意味での資金の融資を希望してやみません。(私学振興会というものがありますが貸つけ金の増加を考えてほしいと思います)

保育上の教材、教具、遊具、絵本等につきましても各業者は連絡をとり特色を生かすようなものにしてほしく価格等もなるべく安価にしてほしいと思います。(定員百五十名、現在百七十七名六組編成)

(小田原市こゆるぎ幼稚園)

神奈川県公立幼稚園施設数一覧

年度公私別	昭22	昭25	昭29
公立	二	六	一二
私立	二四	七八	二三〇

静岡県内に於ける 幼稚園の入園状況並に 問題点について

田中 阿以

こ二、三年の当県幼児教育の振興は、実にめざましく昭和二十八年度には四十園あった公立幼稚園が、二十九年年度の調査によると五十五園となり、尙昭和三十年一月現在では六十五園と、益々増加の傾向にあります。

小学校の中に芽生えた幼童部といわれる施設が、次第に発展して、経済の許される市町村立の学校では、附設幼稚園として発足している状態にあるわけです。

私立幼稚園に於ても、昭和二十九年年度の調査によると、百二十園であったものが、昭和三十年一月現在では分園もあわせて百三十四園となっています。私立に於ても無認可の幼稚園等という幼稚園になる前の段階ともみられる施設が最近目立って出来ている状況をもみても今後益々幼稚園の増設されることが想像されるのですが、その施設に対する入園児の状態は県内の土地の事情によりそれぞれがち

がいがあります。県西部では殆ど飽和状態で園児募集にさいしての宣伝がはなばなしと聞きこえる位です。

当静岡市は人口二十七万を数えて、小学校は三十一校であるのに対して幼稚園は、認可のものは、国立(市立)私立二十三計二十五園となっております。当園は住宅街にあり一昨年までは定員二百名で、毎年五百名近い志望者を公開抽選によって決定し、ごたごたしたのを、せめて幼い子供達だけでも平和にと願って、昨年三部屋増築出来たおかげで、少し多すぎるのですが、四百名定員となり、大體落つきをみました。それでも昨年は五十名程度収容出来ず、またまた抽籤となり、本年は四百名の定員どおり大変落ついた状態となり喜んでゐるわけです。併し本年あたり当市の応募人員は多少減少の傾向をみせ、静岡市に於ては幼稚園の施設はそろそろ飽和の数に達してきたことが感じられます。

子供の数が次第に減少してゐるとして、むやみに幼稚園が出来てくると、必要以上の宣伝をしあつて園児を中に教育的でない事態が生じやすく切角の幼児教育もゆがめられはしないかと心配になるわけです。施設の不足して

いる所にはどしどしよい幼稚園の出来ることを願つてやまないのですが、施設の多い都市に於て乱立することは好ましくない状態を招く恐れがあり私立の場合は経営上適正配置という問題が強く考えられてきます。良い園は栄えるとはいふものの数の多過ることは将来への大きな問題点だと考えられます。

本年度当市は一、二園テストにより入園許可しましたが例年に比してどの園もあまり混雑せず、教育と経済力の関係がうかがわれます。関係者は益々自重して、この意義深い芽生えの時代を育てる使命を、真剣にはたしなものと切望してやみません。

(静岡市立安東幼稚園)

高知県の入園の状況

堀田 茂兎

本県は戦災後公立幼稚園の再興を見ず現在市内に七ヶ所の私立幼稚園を持ち全国最下位の幼児教育の歩みを続けて居ります。此の

七つの幼稚園も終戦直後には高知大学教育学部内のものと女子大学内のもの二ヶ所その他の五ヶ所は年々に新設されたり或は保育園から切り替えたり又は経営上やむなく保育園として再起されていたものをようやく元に戻えされたもの等で現在に至りました。それに加えて郡部の方に二ヶ所の私立幼稚園を持って居ります。戦後急速に高まった幼児教育の重要視から志願者の激増に会い嬉しい悲鳴をあげました。幼児教育に理解と情熱を持つ父兄の増加した喜びとそれに答えられなかった落伍者の父兄の失望に挟まれて身の置き所のない悩みを味つた時もありました。市内の密集地区にある女子大学幼稚園に於ては戦後年を重ねるに従ひ志願者数の激増に父兄と共に悩み園舎の拡張や公立化にと全力をあげましたが力及ばず又教育本部の官立化にも関係者と協力しましたがこれ又実現に至りませんでした市内の公立幼稚園の再興も補助金の関係上保育園に喰われ実現出来ません。従つて入園を希望する者の約半数をようやく収容するといふ状態を昭和二十七年頃まで続けて参りました。その間「就学前の教育」の声が高まるにつれ戦事中保育園に通つていた子等もただ何

という事なしにその声を早合点した親達が幼稚園へ移動し始めました。中には明らかに長時間の保育を要すると思われる家庭状況の者まで「学校前ですから」の理由で希望して来る状態でした。そこで選抜の方法を一層慎重に考えなくてはならなくなりました。受付順も正当ではなくなりました。兎に角「就学前の教育」という事を学校への準備教育だと早合点した連中の多くなつた事は確かでした。「六人に一人」「五人に一人」の競争率も年毎に増加した幼稚園の御蔭で段々と緩和されて来ました。現在では市内七ヶ所の幼稚園がそれぞれ地区的に円満な募集を行い満員の状態をしています、今年になって特に目立ったのは県下全般に亘って幼児数の激減した事です関係者は産児制限による影響だと見て居ります。入園選抜方法は各園とも一応幼児をテストする事にして居りますが父兄の面接も重視しています私立の経営は父兄の協力に待つものが多いからです保育方針に対する協力も求めます。希望者のすべてを入園させ度いのが願でありますので最大限をとの考から許されぬ事でしょうけれども一組五十名(但年長児)を一名助手一名で保育しています兎に

角市当局の熱意を待ち公立を設け或は私立幼稚園の増設等により希望者全員の入園を見る日の一日も早い事を祈って居りました然し私達幼稚園会に於てはお互に協力し「いかさま幼稚園」の誕生を防がなくてはならないと考えて居りますそれは幼稚園の数が少ないという事より以上に恥しい事になるだろうと思うからです現在に於てはおおよそ理想とはほど遠いあまりにもかけはなれた実状ではあります却又に理想を捨てずさやかな集りながら手を取り合つて一步一步歩を進めて行こうと努力して居ります。幸に子供達が恵まれた自然のもとに健やかに育ってくれます事を有難い事だと感謝して居ります。

(高知女子大学附属幼稚園)

— 福岡県 —

入園選抜の方法につき

遠藤 艶子

当地区にては六七園の公私立の幼稚園で北九州幼稚園連盟を組織し、研究及親睦連絡機

関としていますのでその中の二三園の例をおしらせしお答えと致します。

Y市の或園

選抜方法として幼児には体格検査と田中ビネー式テストを行い地域的に考慮をばらう。父兄には面接及び幼児教育に対する認識の程度を簡単に筆記考查

募集期間 一日

入園志望者の率

昭和二八年度募集人員に対し一倍半

二九年度には二倍、三〇年度は少々多い程度

T市の或園

選抜方法は願書を四〇〇枚に制限する

入園者数 二五〇名

募集期間 一日

願書をうけに来園の折親子一緒に面接する。

後日幼児に、体格検査と田中ビネー式テスト

を行い選抜する。

K市のミッシン系の或園

募集期間 一日

願書を三〇〇枚に制限して入園者二五〇名を選抜する。方法として、幼児には体格検査を行い結核性の小児はことわる。家庭事情を書類にて調査する。知能テストをなし、知能は

高くとも集団生活に適さない性行の者はこと
わが問題児は研究としてとる。

市立小倉幼稚園

募集期間 四日

募集人員 三二〇名（昭和二八年度より一年
保育のみに切替）

選抜方法 幼児には体格検査の結果集団生活
に適さない者をこわった後抽籤器にて選抜
決定する。入園決定後保育の参考にする為、
父兄面接及び幼児に知能テストを行う。

入園志望者

昭和二八年度 定員二〇〇に対し五二八（一
年保育のみ） 二九年度募集人員三二〇に対
し五六〇名、三年度募集人員三二〇名で現在
未定です。

当市には公立幼稚園一 私立幼稚園一七の
現状で、幼児教育の要望は近年ますますも
上り、志望者多数の為二八年度より一ヶ年保
育に切替て今日に至っています。けれど幼児
の成長発達過程の研究する為には是非二年
保育児を収容したいとおもいます。

又一方公立幼稚園新設の要望もあり施設の
増設にも努力中でございます。

（小倉市立小倉幼稚園）

長崎市における
幼稚園の入園状況

荒木 志保

秋の運動会がすんで伊木力（だんだん畑で
みかんの名産地）みかんが、あたたかも花が咲
いたように色づく頃になりますと、そろそろ
来年度入園の園児募集が話題にのぼって参り
ます。長崎県下公立幼稚園十五、私立幼稚園
四十二のうちで長崎市内公立三私立二十五と
いう状態で県下の約半数をしめています。こ
の最近の入園状況を御報告してみましよう。

七、その他の問題点

- 1、昭和三十年年度の応募状況
○即日満員○三日―五日位で○一ヶ月位で
○未だ定員に充たぬ（三月現在）
- 2、応募率の高低と幼稚園からの就学率は
正比例する。市の中央は幼稚園からの就
学率は六〇％、周辺に行くに従って5％位
の処もある。
- 3、必要な箇所設立されず位置がかたよ
り過ぎてゐる。
- 4、定員の二割三割と多く園児を入れ過ぎ
る。等、

県下の幼稚園を調査する時間の余裕がありま
せんでしたので市内のみにとどめました。

（長崎市玉ぞの幼稚園）

	昭和二十八年年度		昭和二十九年年度		昭和三十年年度	
	一、応募 募集人員	数 募集人員の約三倍	二、募集人員	二五・一八	三、募集年月日	九月―翌年 三月迄
四、選考方法	知能テストと身体検査 願書受付順と身体検査 身体検査のみ行う	同上	同上	同上	同上	同上
五、幼稚・園数	十九ヶ園	二十五ヶ園	二十九ヶ園	二十九ヶ園	六、競争実状	入園希望者が逐年増加 するの二、三年保育のみ 募集する園が増加した 人員がふえた

山梨県の入園状況

岩間 松榮

一、我國の入園状況について

私共の幼稚園に於ける入園方法は入園受付の掲示を致しましてから入園願書の受付順に採り定員になり次第打切ります（特に身体的に欠陥のない限り）昭和二十九年年度迄の入園児の募集人員は一年保育百名、二年保育四十名となっており毎年ごと定員数をこえており何とかして是非入園させてほしいと云う方も随分ありますがお断りしている様な状態で何か事故があつて止めた場合のみ補欠をとっておりましたがこの昭和三十年年度に於ける入園状況は毎年の定員数に七、八名不足という所です。その他の幼稚園の状況についてもどの様な実状か調べてみましたが同様に定員数に不足というのが殆んどでした子供の数が今年からぐつと減つてゐる一方、保育園が乱立し一般大衆の幼稚園と保育園についての認識がひ

低く、幼稚園と保育園は同じだという考えを持つており、幼稚園に入園すべき子供が保育園に入園してしまつたと云う実例が多く、之が今年度幼稚園の入園児減少と云う原因になつたと思います。

二、二、三年來の県内幼稚園

入園状況について

山梨県に於ては特殊の宗教關係の幼稚園及公立幼稚園（山梨県では只一つ）では特に智能テストを中心としたテスト法及身体検査、父母の宗教等に依り入園児を決定している所も一、二ありますが、之等を除く他幼稚園は矢張り私共の園同様願書の受付順から定員数迄を採つてゐる幼稚園が殆どです。

入園状況も私共の園、同様で二十九年年度迄よりも三〇年度の入園児数が著減しております。

（城北幼稚園）

岩手県の子園園

森 純吾

岩手県の子園園教育は、幼兒教育連盟や私立学校協會等の努力にも関らず、關東以西地方に比して極めて低位にある。岩手県の面積は四国四県とほぼ同じ位であるが、その幼稚園の数は、本年四月一日現在で私立三一園、公立七、国立一で計三九園に過ぎない。その設置分布は極めて稀薄であると云える。明治年間には於ては私立一、大正年間に於ては私立七園が出来ただけである。残りの三一園は、昭和になつてからのものである。そのうち昭和二十七年までに出来たものは、私立六、公立一、国立一園のみであつて、残りの公立六園は昭和二十八年以後であり、私立の一七園も昭和二十七年以後に出来たものである。

岩手県に幼稚園の創設されたのは明治三十七年であるが、それ以來昭和二十七年まで約五十年間幼稚園の出来た数は二十七園で、そのうち正式に認可を受け現存しているものは

国公立各一、私立一三、計一五園である。然し昭和二十七年、新しい日本の独立を境として急に幼稚園が増加していることを知るのである。本年四月一日までの三ヶ年間に公立七私立一七、計二四園が誕生しているのである。この間、丁度一ヶ月半に一園づつ増していることになる。これは不振であった岩手の幼児教育にとって劃期的な出来事である。尙現在各地で公私共に増加する勢にある。みちの奥岩手にもようやく幼児教育に光がさして来たようである。

幼稚園の現在の収容定員は、昭和二十九年四月の調によると、私立幼稚園に於ては定員三、一四九人、応募者四、三一三人、合格入園者三、四〇一人となっている。県下全体で約一千名の入園出来ないものがあることになる。然しその大部分は都市の子供である。例えば盛岡市に於ては、私立幼稚園の定員八一五名に対して昭和二十九年度の応募者は一、六五六人で約二倍強で半数以上の者が入園出来ないわけである。従って昭和二十七年頃から選抜が行われている。その方法は、所謂面談と称してメンタルテストや身体発育考査による選抜法、専ら抽籤による方法、願書受付

順序によって入園者をきめるもの等が主なものである。宮古市、一関市、久慈市等に於ても定員を超過し若干の選抜が行われているようである。都市部に於ては、何れもここ数年来希望者が激増して施設はそれに追いつかない状況である。その他の地方に於ては大体希望者は全員収容されている。然しそれは施設の近くの人達だけである。遠い所の者や施設のない所の者はどうにもならないのである。

公立幼稚園の収容定員は、現在七園で約千名である。これ等も、何れも希望者を全部収容しきれない状況である。

昭和二十九年四月一日現在、県教育委員会の調査課の推定計算によると三才児の数は四〇、二五四人でそのうち入園者は一六二人、比率は〇、四〇二%である。四才児は四〇、八六〇人で、そのうち入園児は一、二二一人で、比率は二、七四%、五才児は四一、一九五人で、入園児は三、〇〇四人で、比率は七、二九%である。この外に現在岩手県には、六九の常設保育所があり、五、四〇〇人の幼児が収容されている。然しこれは社会事業としての収容であつて幼児教育としての幼稚園の施設並に被教育幼児は、極めて寥々たるも

のである。

岩手県の綜合開発や町村合併の推進されている折からでもあるので、これ等の進むにつれて幼児教育も急速な発展を見ることがあろう。

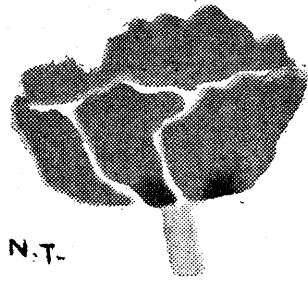
(岩手大学附属幼稚園)

(57頁から)

最後の仕上

げの討論や、質問等、いわゆる評価の期間を終り、修了証書を頂いて、この研究集会の幕をとじました。感想をまとめるところの英文のレポートはいささか頭を悩ましたが、ともかく提出をすませると互いに再会を約して、米国のみでなく各国の先生方の理解と親愛を深めるこのプログラムが無事終了したのです。その日の午後ワシントンD・Cを出発日本の一行は、シカゴ、デンヴァ、ソルトレイク等を経てサンフランシスコからアメリカ船プレシデント、ウィルソン号で懐しの故国へむかいました。ハワイに一日寄港、三月十一日の夜明を待ち兼ねて登った甲板で燈台のあかりをみつめ乍ら胸をとどろかせる私達をのせて船は横浜へと接近して行きました。

(千桜幼稚園)



N.T.

キリスト教幼稚園界の展望

武 南 高 志

昭和二十九年七月現在、わが国の私立幼稚園数二八三二のうち、私の推定によればキリスト教関係の幼稚園七〇六（内、プロテスタント五三三、カトリック一七三）ということになり、全体の二四％に当る。この数字は正確とはいえないが大体の見当に違いはないと思う。しかし私がここに問題として二、三のことを挙げたが、これは主としてプロテスタント側から見てのことである。

※ 問題の第一は、キリスト教幼稚園の特質についてである。

明治の初期、海外からの宣教師は、キリスト教を伝えるため間接的伝道の一手段として各地に教育機関を設立した。これがいわゆるミッションスクールで、明治二十年頃までは非常な勢で青年子女の憧れの的であった。それが三十年代になって著しい衰え振を示して

来た。もちろん、そこには国情の推移、思想の変化などに作用されたが、然し何より直接的な原因は（一）官公立諸学校の充実整備につれて従来の光輝ある地方を失って来たこと（二）これらの学校の教師が必ずしも優秀でなかったこと、即ち宣教師の教育的素養の欠如、彼らの中には教育事業を余りに安易に考えていたものが多くあった、というようなことが挙げられている。

今日のキリスト教幼稚園もこれに近似した点がある。即ち、かつては間接伝道の一手段として設立されたものが、再検討されねばならぬ時になっているということである。

そこから起る問題として、キリスト教幼稚園の特質たる教会教育（宗教教育）の場として、果してどれだけ整備されているか、教員に人を得ているか、施設、設備において他に比して遜色はないかな

どが注意されている。

また間接的伝道或は教会教育を主眼として幼稚園を經營するとい
いながら、知らず知らず、または意識して教会を維持するため幼稚
園を經營するというものがなくはない。このような考え方に對して
は、教団内においても「それは教会を冒瀆するものであり、幼稚園
教育をばかにするものである」との厳しい批判の聲が起っている。

※ 第二は学校法人化の問題である。

教会附屬の幼稚園は、その大部分が宗教法人の公益事業として經
營するものであり、その他關係幼稚園も大多数は非法人である。こ
れが近い将来に予定されたる私立学校本来の姿である学校法人とな
るについて問題をもっている。

その一つは、宗教法人から切り離して、独立した学校法人となる
ことによつて、この性格の変化、換言すれば教会が一貫した指導精
神をもたせられなくなりはいないかという懸念である。この二は、
随つて、これに伴う設置基準の変更で、現在の施設を高くすること
の諸種の困難である。即ち拡張資金と施設拡充の容易でないことと
ある。教会の構内地は概して余り広くはない、しかもその多くが会
堂を保育室または遊戲室として兼用している実情であるから、これ
は直ちに増加するということは不可能にひとしい状態のところも少
くない。

※ 第三に園長の問題

キリスト教幼稚園の園長は多くの場合、牧師がこれに當ってい
る。そのことの可否が最近論議されるようになった。

過日、日本基督教団の全国者区教育委員長会議の席上で、ある教
区から「幼稚園の社会的位置が高まり、関心と期待が高まつて来た
ため、牧師が園長である場合、相当の時間と努力と神経を用いねば
ならない。これは牧師本来の任務である伝道牧会との間にアンバラ
ンスが生じたり、充分行ふことが出来ないようになる。そのことか
ら牧師に対して教会内に不満の起ることがある」と報告された。

その席上では、これは牧師が園長としてのタッチの仕方による、
その点を十分に考慮すべきだというようなことで終つたが、教職員
の専門職ということが求められていることから、幼稚園が決して
序手間であつてはならないしまた牧師が本来の任務をおろそかにし
てはなおさらいけない。即ち二兎を追う者になりはしないかの懸念
が高まつて來つた。

(日本基督教団教育委員、幼稚園専門委員)



N.T.

佛教幼稚園界の展望

青 柳 義 智 代

戦後の仏教関係幼稚園の増加は実に目覚ましいものだ。春を迎えて曠野の草木が、一斉に芽生えるに似たような壮観で、都会地に於てはどの寺院も競って幼稚園を計画し、堂々とした園舎の建築を初め出した。そのためところに依つては隣同志の寺院が同時に幼稚園を始めて、おたがいに経営上苦勞するような事態も起つて来ている。

なぜ、戦後急に寺院が幼稚園の設置を考え出したかと云うと、社会状況の激変から従来の寺院経営が困難になつて来たからだ。かつては仏事と所有地にて、充分安定した生活が営まれていたのでそうした附帯事業など全く考えず住職は専ら仏事のみに従事して、御堂深くひたすら法燈を守つて過せたものだった。然し現在に至りて従来態度では寺院は経営出来なくなつてしまつた。そのため一斉に社

会と取組む仕事に手を染めなければならぬのである。その事業としては、最も手ごろのものは即ち幼稚園であると云う訳である。幸いに寺院のそうした転機に相応じて、幼稚園は学校として新しい地位が与えられて、幼稚園教育への社会的要望が急激に高まつて来たことは、一層寺院の事業要求を満して来たものである。寺院には幼稚園設置に先ず必要な土地を、境内に持つていたことは、実に強味である。特に都会地に於てはその土地を獲得することが最大の難関で、土一升金一升と云われているだけに、二〇〇坪前後からの更地は、安々と得られるものではない。ところが寺院境内地には少し植木でも整理すれば皆その位な余地が出て来る。伝統の仏教勢力の強味である。あとは建物であるが、寺院経営の困難を承知している

檀信徒は寺院の経営の安定のためには、またこぞって賛同し後援をおしなかつた次第である。

そうした条件が揃っている以上、寺院の経営の幼稚園が急激に増加することは当然である。どの寺院も一斉に目を覚まして立ちあがるように幼稚園を設置したものである。だから東京都内に於ては、区によって三分の二は寺院経営の幼稚園であると云う仏教保育の隆盛をみるに至っている。

かつては、宗教関係の幼稚園ではキリスト教が一步の先輩であった。日本の幼稚園発祥の歴史をみても、キリスト教幼稚園が先ず誕生している。そして明治、大正時代はずっと主導的立場を持続して既に全国的な組織をもち活動していたものだ。その時代は、仏教、神道の幼稚園は微々たる存在であった。全国的な組織もなく、相互の連絡もない、心細い経営を続けていたものだ。

現在と比較して隔世の感がある。施設に於て広大な幼稚園敷地に新しい専用園舎を有していること、そして実数また、キリスト教関係幼稚園を超えていることなどを思うと、戦後の仏教幼稚園の隆盛は夢のようである。

然しながら、実数並びに施設設備の優位は、そのまま幼児教育の実績とは言えない。それは形態である。就いては今後は内容の充実に専心しなければならぬ。形だけ整っていてもまた優れていても、内容が伴わなければよいとは言われない。殊に教育事業であるから教育内容の充実に主眼であつて、形態はその大目的の条件に過ぎない。仏教幼稚園界は未だ、その充実に残念乍ら欠けていると思

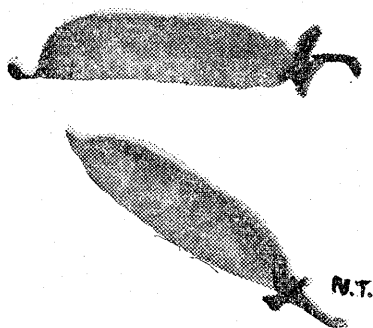
う。殊に仏教界の欠点として独尊的になり易く、少し設備でもよいと、「天下の幼稚園」と考え易い。そして幼稚園界には仏教だけでなく神道もキリスト教関係の幼稚園もあり、更に国立、公立の全国五千数百校の幼稚園のあることを忘れがちになる傾きがある。幼稚園は日本の学校教育大系の一つの事業であることを銘記して宗門の幼稚園仏教の幼稚園だけに目を向けずに、広く全日本の幼稚園教育界の現状と動向に視野を広げ度いものである。そして施設設備の充実に共に、教育内容の充実に専心して、仏教幼稚園は名実共に日本幼稚園の主導的立場に立つよう念願し度いものである。

尙仏教保育の全国的な組織として、昭和四年に設立された日本仏教保育協会がある。大正末期から昭和にかけて、仏教関係の若い世代の人々が教化の対象を児童におくようになり、日曜学校、コードモ会がすばらしく隆盛になった時代がある。それに慊きたらず、更に固く定し安定した児童教化事業に進んで着手し出した。それが幼稚園、保育園の開放である。その気運が結集されたのが、仏教保育協会の誕生である。設立以来、日本仏教保育の興隆と発展のため各種の事業を行つて来たが、余り活潑な活動をして来たとは言えなかった。しかし、戦後の仏教幼稚園界の隆盛は新たな生氣を協会に与えることとなつて近年極めて活潑な活動を開始しつつある。仏教幼稚園界をスツキリと全国的にまとめて、その充実発展のために調期的な役割りを果たす日も近いと考えている。仏教幼稚園界の黎明期を迎えていることを心から嬉しく思うものである。

(日本仏教保育協会顧問・宝仙大学)

保育所の眞の姿

副
島
ハ
マ



「先日〇〇町に行ったのですが、小さい町に似合わない立派な建物があるので、病院かと思ったら、これが何と、保育所でしたよ。この頃保育所も大したものですね」

或有力な指導者にこういう言葉を聞かされて、私は驚いてこの人の顔を見直した。この方は保育所の何をさして「大した」と仰言るのでしょうか。建物？ 建物の立派も結構——。勿論私は子供たちの家の軒が傾いているから保育所は粗末でよいとか、四畳半一間に六人が寝起きしているから家庭の子供だから保育室の広さは〇、三三坪でよいとか、家庭でも母親が録に見てやれないのだから保母先生の受持児童数は多くてもよいなどとは思わない。家の環境が粗末であればある程、保育所の設備は豊かでありたい。そうしてこそ「すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない」という児童福祉法の言葉が完うせられ、「家庭に恵まれない児童には、これにかわる環境が与えられる」の児童憲章が成就されるのであるから——。

しかし私は、病院と間違えられる保育所の建物に対する「大したものですね」の誉め（？）言葉には、いささかピンボケの悲哀を感じるし、そういう大きな建物が建つことの根本に、町の上層部の方々の保育所に対する認識のピンボケを感じて残念に思わないではおられない。

ここで、私はこの人に対してピンボケの抗議を書きたいのであるが、それよりも保育所の眞の姿を、一部の家庭からのぞくことにしよう。

以下は〇〇県の保育所監査に行つて、〇〇町保育所児童の家庭訪問をした時のことである。

第一に訪問した家庭は引揚者のために建てられたバラックの長屋。「〇〇ちゃんのお母さんは？」案内の保母先生の質問に隣のおばあさんが「今日は〇〇で刈り入れの手伝です。遠いから昼も帰らないのでしょう」の返事、私はそのお母さんに直接会えなかつたけれど、子供二人を保育所に預けて安心して仕事に精出している母親の姿を心の目に写しながら「お母さん頑張つて頂戴！ あなたのお子さんは保母先生の手でしっかりと抱かれ守られていますよ」と、声なき応援を送つたのであった。

第二に思い出す家庭は、狭い露路まで漬物、豆腐などの槽を掘けている八百屋さんである。私が「お子さんが保育所に行っているんですつてね」と声をかけると、前かけ姿のお母さんは眼をバチクリして案内の保母先生を見ながら、「えー、もー、保育園のおかげさまで——。えー、もー、先生のおかげさまで、安心して商売が出来ます」……。

ほこりっぽい道を行くと間もなく町はずれになって、私たちは第三の家庭を訪問した。納屋を改造した家、入口を開けると玄關と台所兼用の土間で、七輪とそだ、鍋、釜などが雑然とおかれてある。窓は一尺四寸のが、家中にただ一つ壁板を切つてガラス一枚貼りつけてあるだけ。押入れがなく、少い蒲団や衣類がつみ立てであつて床の高さは一尺もない位で、畳らしいものがはじめじめていた。母親は働きに出かけて、勿論留守、もし保育所がなければこの家の子

供は、この暗い部屋で一人で何をして遊ぶだろう？　そして遊びながらどんなことを考えるか知ら？……。

第四の家庭は、引揚者寮の一室、昼なのに廊下には電燈がついている。といつても眼が慣れるまでは何も見えない位の暗さである。「この子供はこの頃保育所を休んでいるので、丁度今日は訪問しようと思つていた所です」保母先生の言葉にうなづきながら、ドア——（といつても、ガタビシの雨戸）を開けると、六畳と三畳の板の間二つ、部屋はガランと広いが、畳は六畳の方に二枚だけ、その上に薄い蒲団が敷いてあつて母親がねている。「先生、子供たちを休ませて済みません。私がどうにも起き上げれないものですから、〇〇（五才の男児）に御飯煮いて貰つたり、水汲んでもらつたりしています。下の子（二才）は一人で行けないものですから——」母親の顔色も悪いが、側にしょんぼりと足を抱えこんで座っている〇〇ちゃんの顔も冴えない。台所道具は七輪と釜と茶碗類だけ、あと何も——ほんとに何も無い。あの男の子供がこれだけの炊事道具でままごとならぬ御飯煮きを一人でするのかしら？……。私は目頭がじ——んと熱くなつてきた。

「お母さん、元気出すんですよ。あなたには可愛いお子さんがついていますから——」私は漸くこれだけ云つて廊下に出た。と間もなく「先生」と可愛い声がして保母先生の足にまつわりつた子供がいる。下の子供である「何してたの？」「何にも——。早く保育園にいらつしやいね」「うん」……。

私はのどがつまつて言葉が出なかつたが、道に出て五分位も歩い

てから、保母先生に「押入れも行李もお蒲団もなかったようですが夜はどうしてねるんでしょうか」と聞いた。「皆があの煎餅ぶとんにもぐり込むのでしょうよ」……。素人の私が一目で結核と診断したことが間違いないければ、あの子供たちは既に感染しているのではないだろうか……。

あの二人の子供は「何してるの?」「何にも」実に何にも、実に何もしてなかった。普通の家庭の正常の子供なら時間と場所と材料が足りない位熱心に遊ぶのに、おもちゃらしいものも、場所も、指導者も、そして気力もない子供がいる……。そして誘いかけがなければ、保育所も知らないでいる母親や子供が、あるかも知れない……。

第五、第六、第七……書けば無限にこういう示例がある。しかしもう書くことはやめよう。保育所の所長先生と、保母先生方——地域社会の母である保母先生方はよく御存じであるから。

私はこの頃保育所の表面に見える保育活動だけを見て、色々な批評を加える方々や、又冒頭に書いたような、建物で保育所の価値判断をなさる方々に対して、無言の抗議をしたい気持ちになって、しみじみと涙をかみしめることがある。

保育所の存在価値は、表面に見える保育活動ではない。まして建物そのものではないのである。日本中の保育に欠ける子供たちの誰もが保育所に入られて、みなが幸福になることです。保育に欠ける子供たちは感謝の言葉——例えば「生れてから今まで愛情欠如のため、ひがみをもっていたのが、先生に愛せられて初めて人生の喜びを

知り、円満な性格に変わりました」「今までの不規則な家庭生活からルーズになっていた性格がなおりました」「栄養不足のため弱かった私が、先生方の一番苦勞なさる給食で、こんなに丈夫になりました」「今まで友だちにのけものにされていたので卑下感をもっていたのが、この頃対等に誰とも遊べるようになりました」「おもちゃも指導もない家庭の中で、新しい知識や経験への欲の芽が枯れていたのがお蔭で芽をふきかえました。有難うございます」等、等、等、子供自身に認識する力も発言能力もないので、発言しないけれど、もし表現力が充分なら、山程の感謝の言葉が聞かれることだろう。子供たちは何も云えないけれど、保母先生方にとって、子供たちの凡てのすばらしい成長ぶりは、百万言の感謝の辞よりも、慰めであり喜びである。

お母さん方でもそうである。時々お母さまの中に「生活保護を貰えるだけ貰って、じっとしている方が身体も楽でよいと思っていたのに、ケースワーカーや、保母先生方にすすめられ、子供を保育所に預けたばかりに、自分も外に出て働かなければならないことになって——」とか「先生方はうちのような家があればこそ、食べて行けるでしょう。先生方の勤めだから親切にするのが当たり前でしょう」という方があって、長い間社会の下積になっていたお母さん方なのだからと同情しつつも、散々苦勞なさることもあるだろう。そういうお母さん方の更生した姿! 協力的な態度は、又保母生活の最上の慰めであり、励ましになるものである。

「村の係員が、先日保育者所に来て『あなたの保育所は幼稚園化していますね』と云われるので、『どうしてですか』と聞くと『幼稚園と国じ歌を歌っているじゃありませんか』と云われるので、『どうすればよいのでしょうか』と聞くと『唯遊ばせておけばよいのです。家では遊んでいるじゃありませんか』と云われました。一体どうなればよいのでしょうか」

これは三年程前に受けた質問で、この頃は時代が進んで係員の人々が第三者的立場の人からこういう質問を出されているとのことである。

同じ幼児時代である。環境の差を、一応選択する時の条件に入れるとしても、大体同じ題材の歌やお話が幼児を対象とした保育の場やラジオの番組で行われることは余りにも当然である。

保育所の真の姿はそうした保育の表面に見える保育活動でなく、保育所の目的である「保育に欠ける子供を幸福にすること」であり、そこに保母先生方一番の御苦労があるのである。

そしてその保育所の真の姿を見ていただいた上で、も一度、児童福祉施設最低基準の中の保育所の保育内容を見直していただきたい。その中に、健康状態の観察、個別検査、健康診断などの健康保育、生活指導が含まれ、自由遊びの中に音楽、リズム、絵画製作、お話、自然観察、集団遊びなどという保育活動が含まれているのは幼児の自然の遊びと幼児の成長段階にそうした活動が含まれて居るそれを行うことが幼児の円満な成長発達に必要なことであるからである。そしてこれは家庭にいる子供も、集団で保育される施設の子

供達も変りなく、どの子供たちにとっても適当な指導が望ましいことなのである。そしてこれは決して保育所特有のものでもなければ幼稚園特有のものでもありません。（勿論指導する方法については甲斐乙論、未だ研究の余地があるだろうけれど――）

私の家に居る親戚の子供A子（満五才）B太郎（満四才）の遊びを見ていて、私はそう思うのであるが、幼稚園に行かないでも製作を楽しみ、遊戯や学芸会を一度も見ることがなくても、お遊戯の創作をして遊び、劇遊び（家中を舞台にして家族を総動員して劇に入れる）をして遊んでいる。これこそ子供のありのままの姿であろう。

この姿が法令の中の保育所の保育活動の中にあるのであって、こういう活動をしなから、その子供たちの家庭の保育に欠ける状態からゆがめられた子供の姿、愛せられ、育った子供の姿にすることにこそ保育所の苦心があるのである。

建物の立派さ、保育内容の高度な研究も共に必要なことであるが、それと共に保母先生方の御苦心は、母として子供を愛し、子供を幸福にしてやるという平凡で実にむづかしい仕事に取組んで居られるわけである。

（全国の保母先生方の御苦労をしのび御目愛を祈りつて）

（厚生省母子福祉課）

ドナ・ノビス・パツエンの歌

アメリカ 6 ヶ月の生活

櫻井 たか子

一九五四年度のフルブライト留学生として米国教育事情研究視察の目的で六ヶ月間過しました、アメリカでの生活について、思い出すまま記すことに致します。

◎東京——ワシントンD・C

八月二十五日羽田からノースウエストの飛行機で三十六名のグループが発致しました初めての飛行機の旅でしたのでいささか不安もありましたが、案ずる程のこともなく修学旅行のような楽しさで、青森県三沢飛行場、アラスカのアンカラジー空港等を経てシャトルで入国の手続きがあり、レントゲン写真や荷物の検査等も無事に通過していいよアメリカだなと思いました。

アンカラジーで機上の食中毒事件があり、私は何ともなかったのですけれど、同行の先生方のうち大半がひどくお苦しみになって、病院で一晩手当を受けられたりして予定より

一日おくれてワシントンD・Cに到着致しました。ワシントンD・C（特別市）は御承知の通り米国の首府であります、西海岸のワシントン州とまぎらわしいので特にDCと致します。特に首府としての設計により営まれる美しいまちで、ここにオフィス・オヴ・エデュケーション（Office of Education）があり国際色ゆたかに世界各国（四十二ヶ国）から二五〇人の先生方が、相集い相寄ったのでその壮観は胸をうつものがありました。十四年程前に私が当時の東京女高師保育実習科に在学の頃、タイ国から留学生として勉強していらしたサワットさんがこの度やはりタイ国からこのプログラムに参加しておいでになって、奇遇を喜びあうと共につくづく世界は狭いと感じました。

ワシントンD・Cに滞在中、米国の教育について一般的講習があり、初等教育、中高等学校の英語教育、教育行政の三部にわかれま

してそれぞれの共通の問題について話し合いを致しました。この間に約一週間はアメリカン大学のラングエジ・センターで英語も習いました。発音、文法等懇切に指導して下さいました。D・Cでは大い地図をもつて歩いた

のですがある日持たずに出て、「このあたり」と思われるところでわからなくなり、「アメリカン大学はどこでしょうか」と道ゆく婦人にたづねたところ、電車にのって三、四十分も離れたところを教えて下さり変だと思いつつもやっと辿りつくと、ここは大学ではあるが「ラングエジ・センター」はさきの地点のすぐそばですとの事にやれやれと又ひき返しました。

道路の右側を通行する電車、自動車に、長い間待ったあげく、目的の方向に走り去るのは反対側の電車「あつ、しまった」と見送る事しばしば。

濃いグリーン郵便箱の立つまち角で、赤いポストを探したり、バス、電車にのる際、お金を運転手の席にある函の中に、チャリンチャリンと入れてから奥に進む事を忘れて中ほどに行つてから気がついて入口にもどつ

てお金を入れるなど、習慣の違いもあるものです。ワシントンD・Cはちょうど東京の気候に似ているといわれておりますが、八月、九月はじめの日ざしはなかなか暑うございました。

在郷軍人大会のバレードも各州から思い通りに自慢の音楽隊を先頭に鮮かな行進、奇ばつな「だし」を繰りひろげて午後二時頃から夜あけの二時までえんえんと続くので根気よく観る人たちに感心してしまいました。

ここでいよいよ各グループが十二の大学に配されることが発表され、組分けがきまつて私はデトロイト市に行く事になりました。

任地に出発の前、だいぶ仲よくなった先生たちがそれぞれお国ぶりの余興を発表する事になり「タイレント・ショウ」と呼ばれて、ドイツの合唱、メキシコのダンスをはじめ、特色のあるプログラムが又楽しい一日でございました。日本からは、高知県の江草先生のとやかな「春雨」と粹な揃いの浴衣で手さばきも鮮かな「たんこぶしだんす」が好評でした。

ワシントンD・Cでは隣接のヴァージニア

州、フォールスチャーチに住む友達の家泊る事になり、夫妻とも在日の経験があるのでいろいろ気をつけて下さいました。

◎ワシントンD・Cデトロイト市

九月十八日に、私は十六人の先生方、(ドイツ、日本、各三人、キューバ、ギリシャ各二人、印度、オランダ、オーストリア、フィンランド、イタリア、ブラジル各一人)でミシガン州のデトロイト市ウェイン大学に向いました。

かねて聞き及んだブルマン式の寝台車、座席が手際よく寝台に組み直される列車で、ワシントンD・Cをたつとまもなく、この出来たての友達は、ギターを奏でて「音楽の夕べ」となり、「音楽は世界のことば」というわけで、ふつうにはアメリカの汽車旅行は至って静かなものですけれど、特別貸切のように、歌うやら笑うやら、すっかり仲よしになつてしまいました。北へ北へと走つて夜が明ける頃、デトロイトに到着しますと、ウェイン大学からお世話をして下さいる先生方がお出むかえ下さつて、すぐ歓迎朝食会に臨みまし

た。この時胸につける名札が自動車の形であったのでさすがに自動車工業の都市だと感心致しました。

何かにつけて女性がひきたてられますのは結構なのですが、度々新聞社からインタヴューがあり、全力をあげて応答にあたりますのではじめのうちはそれが済むとがっかりする程つかれました。

ウエイン大学はデトロイト市立の大学ですので街なかであり、学生たちも勤勉で活気がありました。私共はスチューデント・センターという、大学の寄宿舎に宿泊する事になりました。

このセンターには他に日本から三名の方が住んでおられ、看護学を研究なさる神谷豊子さんはそのお一人でした。日本語を話すと英語が上達しないとよく云われるのですけれどもはじめのうちは、やはり英語ばかりでは頭の芯が疲れるようですので、精神衛生の為日本話も話しました。

ミス・マリオン・エドマンは、外国人留学生の面倒がゆきとどいて、おいでになりました。よく設備のととのった、ゼネラル・ライ

ブラリ(図書館)の四階の教室で毎週二回火木の午前中、「アメリカ学校生活」「アメリカ家族生活」の、二つの主題で、私達の撰んだ問題についてそれぞれの方面の権威の方をおまねきして特別研究がつづけられました。自動式のエレベーターは、ゆるゆるのぼるのでおくれそうになると階段をかけのぼった方が早いという事もありました。

この他に十七名は各々の専門と関心によって、普通の大学の講義を聴講致しました。私は「幼稚園教育」ドクタ・モア、「比較教育学(各国教育制度)」ドクタ・エドマン等をとりましたが、ドイツに公立幼稚園がないと書いて驚きました。フレイベルの国ですのにと思いました。「よいものを生んでも、守りそだててゆけないで残念です」とドイツの先生がいつておられました。こうした級は夕方からあって現職にある先生方が熱心に専攻しておいでになりました。

又、各自随時参観の出来る小学校をぎめて頂き、私は市の北西部にあるフィツシャルド小学校に参りました。

ミシガン洲の公立小学校は全部幼稚園のク

ラスから始まっていて義務教育ではありませんがほとんどの五才児が幼稚園教育を受ける事が出来ます。クラスを午前午後にわけ少い人数でゆきとどいた教育をというのが建前とか二十五名位から三十名で中々大変だと思いました。それでも三時すぎ午後の子供たちを帰すと、ざっと目を通してあとはすぐかえり土、日と休み、大学に通ったり又自分の勉強をするのです。毎週水曜日に一回映画の時間があるので、その時は一人の先生が三組をもち、あとの二人の先生は室内の掲示とか、環境の整理とかの仕事にあたるというので、この映画もフィルムが充分にあり教育計画にふさわしい材料がえられます。先生方の円満なあいだ柄というものが時間を生みだしているのでしょう。映写機もち運びに便利な車にのせられてありますから、おっくうでなく取扱えます。デトロイト市の周辺では、フォード、ゼネラルモーター、等全アメリカの九五%の自動車(乗用車、トラックその他)を生産するとの事、大切な重工業地帯というわけで、毎月幼稚園も空襲避難訓練をしています。

教育委員会の指導主事が大学の教育学部の

ウイミングトン市の幼稚園を訪ねて



教授をかねておられたり、連絡がよく出来ていたと思います。

さすがにカナダの対岸だけあって早くから寒さがやって来ました。

近くのディアボーン市に、フォードの博物館があって、特にアメリカの歴史的な建物を移して村をつくった、グリーンフィールドグレイジにはエジソンの研究所とか、フォスタ

ーの住んだ家とかが集められていました。ドクタ・エドマンは十七名を、「私のこともたち」と呼んで、私たちもお互いはもとより、エドマンのことも姓でなく名でマリオンと呼びました。心の美しい方でしたから、私たちも又「お母さん」と呼んで慕っております。

ただ、どちらかといえば、アメリカが理想とする面、誇ってよい面を多くみせて下さったようです、第一次世界大戦終戦記念日の、午前十時に、土に眠る人々に祈りを捧げ、静かに「ドナ・ノビス・パツツエン」(ギイヴァス・ピース)の歌を歌って、かたく手を握りあい、教育を通して、世界の平和のためにつくそうと誓いましたのは今でもあざやかに記憶に残ります。

ハローウィンのおまつり、中間選挙、サンクスギビング等が次々にやって参りました、ナイヤガラの滝、ミシガン一周旅行等、さすがに規模の大きい風光を楽しみました。学校関係及それ以外の種々の会合に招かれ、日本のことについて紹介につとめました。

ウエイン大学におけるマリオンと17人の子供 // Dena Nobis Pachen //



◎デトロイト——シカゴ——ブルーミントン——ニューヨーク——

十二月十七日の午饗会を最後に公式のデト

中列の中央が著者

ロイト生活を終り二三日整理をして、シカゴを通つてブルミントン（インディアナ州）でクリスマスをむかえました。ここには前の年にフルブライト交換教授として日本に一年滞在なさったインディアナ大学のバリンジャー先生がいらして、日本語も達者でいらつしやるところから、私たちの三ヶ月の印象について整理反省を助けて下さいました。

この静かな大学まちでは、二十四日の夜、救世軍が中心になって貧しい人々への贈物をするために、沢山のバスケット（籠）を用意しその家族に応じ、食料や、おもちゃ等を整えていました。家族だけのお祝いのお料理をすませると子供たちは早くに床につきました。翌朝はツリーのまわりに友達や家族から贈られたプレゼントを開くの早くから目をさまして大騒ぎでした。

ニューヨークでは、大みそかの「年越し」をみる事が出来ました。日本製だというおもちゃをガラガラ鳴らし、笛をビュビュウ吹き、風船をわり、ブロードウェイの商店はショーウィンドウの破損をふせぐ板をはって、タイムスクエアにあつまる人々の群にそなえ

ていました。

一月四日ユナイテッド・ネーションビル（国連ビル）を見学致しました。ちょうど、本年最初の安全保障理事会が開かれて、傍聴の機会が得られましたが日本も早く加入出来たらよいのと思ひました。

◎ニューヨーク—コロンムビア

ニューヨーク市で一緒に見物した先生方とわかれて唯一人、サウスカロライナ州の首府コロンムビア市に到着致しました。

ここには公立の幼稚園がないので教会設立の幼稚園に配属になりました。

スミスさんという熱心なクリスチャンの家庭に、家族の一員のようにあたかくもてなして頂いたのは本当に忘れられない経験です。又一週間づつではありませんが専心子供たちと一緒に暮した事は、多くの幼稚園を次々に見学した事にもましてよかったと思います。教会がこのあたりのすべての活動の拠り所となしているような感じで、幼稚園、家庭、地域社会一体となつて、よい社会人となるための大事な、「宗教的な懂けい」を育てておるような

感じが致しました。アメリカ国民の合理性を愛する生活態度とその内部にあるキリスト教精神に僅か乍らふれ得たように思ひます。ひとりであつただけにまわりの方も心配して下さつたでしょうし、私も身にしみて親切が嬉しかったので三週間の実習を終つて次の任地にむかう時には朝から別れの悲しさがこみあげて、朝ひるの食事も溢れる涙にさまたげられる有様で、しゃくりあげ乍らウイミングトン市に向けて車中の人となりました。

◎ウイミングトン市—再びワシントンD・

C

ウイミングトン市（デラウェア州）に公立幼稚園をみる為に一週間滞在しました。

この市の教育次長のクロスビー女史は体格も優れた精力的な活動家で、魅力的な仕事ぶりに感服致しました。次いでワシントンD・Cにかえり、この市の中にある児童研究所、私立学校、ティーチャートレーニング、カレッジ、及その附属小学校等を見学致しました。さて最後の二週間、再び一堂に会した先生たちは各地での経験を語りあい、（44頁へ）

徳島名物今昔論



板 東 和 子

この郷土の名物を大切にしなければと日夜努力をつづけている。名実共に日本一になるようにとまい進をしている。

ところがこの度「幼児の教育」よりその名物について語れということである。

而し最初は一つであった幼稚園が次第次第と数を増し、現在のように公立幼稚園の多い徳島として又その分布に於ては全国第一としての位置を得るに至った遙かなる過程を思う時、幾多の先輩諸賢がこの道に勞をつくされた事かと今更のように無量の感に打たれるのである。

ここに過去をしのび、本県幼稚園史をひろげることは我が道の先駆者として本県幼稚園界に偉業をのこされた有名無名の人達に感謝のまことを捧げることであり、又私もこの道の一人として後より来る人達に対してその足跡のますます強く大きく印さねばと自らに鞭打つ次第とも思われるのでしばらく幼稚園の昔をたどることにする。

本県に簡易幼稚園規定が定められ、学令未満の幼児を小学校内に於て小学校教員或は教員補助又は適當の婦人等が保育の任に當つたのは明治十七年の事で文部省が学令未満の幼児は幼稚園の方法により保育すべき旨、府県へ示達したその年の事である。

この時いち早く徳島市内に富田、助任、寺島の三小学校に幼稚科として設置せられたも

数年前のことである。

我が徳島に足をはこばれた長田新博士は私共にこう語られた。

「徳島には名物が三つある。鳴門わかめに阿波踊り、それに幼稚園教育。徳島の幼児教育はすばらしいですよ、実に名物ですよ。」

鳴門わかめに阿波踊りは自他共にゆるした名物だから当然の事として聞いたわけだが、三つ目の名物については一同互に顔を見合せて啞然とした次第である。

県外人に紹介されてはじめて気のつく名物というのは実に珍らしいことである。私共は

「名物にうまいものなし」

徳島の幼稚園教育も例えにもれず、知つてみたらそれ程の事ではなかったと、全国同じ道の人達にわらわれそうでいささか気のひける思いもするのであるが、兎に角何とか書いて責めを果したいと思うのである。

現在県下の幼稚園は国立一、公立一五〇、分園九、私立四、という数を示し、公立幼稚園が絶対数であるがこれを小学校の二九六に比べると五三%となり私共の願う小学校毎に幼稚園をという理想の考えには程遠いことである。

その後明治二十三年四月徳島高等女学校に
仮りに幼児保育科を設け該校生徒がその任に
當っていたのが、翌二十四年三月同校の廢止
と共に幼稚科もその運命を共にしている。

學校に幼稚園が附設されたが、地方教育者の一の中には幼稚園を経たる者は必ずしも小学校に於て成績良好でないという意見を以てその眞価を認めようとせず、又経費等の理由を以て公私立幼稚園の促進がはばまれた儘十數年を経過した事は今にして思えば実に時世の相違とは云え、今昔の感に堪えぬものがある。

爾來六十年。如何なる世相の変転にも真に
 幼児の幸福を願ひ、すべては子供の爲にと霜
 に堪え、嵐に堪えた尊き人達の困難は世人の
 理解と認識を得、要路の人達の協力を得るに
 至り、就学前教育の重要性をさとする者次第に
 多く、入園希望者は年と共に増加し、随つて
 幼稚園數も時勢につれて次々と創設され現在
 の隆盛をみるに至つた次第である。

左に幼稚園の設立を年代別にしてみるとそ

の情況がよくわかるのである。

徳島県国公立幼稚園年代表

[illegible]

昭和三十年一月末日現在

明治年間の三園、大正年間の八園はすべて徳島市内及び隣接の板野郡内に設立されたもの

のばかりで何れも私立幼稚園として小学校に附設して発足したものが後、市町村に移管されて公立となつたものである。

徳島市の如きは幼稚園令の制定された大正

十五年の翌年春を以てすべて市に移管され、私立を市立と園名変更している。

何れの処も同じ状態と思われるが本県も戦後に於ける幼稚園教育はめざましいものがあり、園数も急激に増加をみせている。

その原因となすところはいろいろあると思

われるが昭和二十二年学校教育法の中に於て幼稚園が学校教育の一貫としての法的根拠を持つに至った事が最大の原因と思われる。

又アメリカの教育使節団が来朝の機に幼児教育の重要性を指摘したる事も大いなる原因とみるべきであろう。

又全国国公立幼稚園長会の組織と活動の力により、中央は勿論全国各地には一段と幼児教育の重要性と大衆化が叫ばれるに至り、国費及び県費を以て幼稚園教育の若干が負担されるに至った事も原因と言わねばなるまい。本県に取ってもこれらの事は何れも幼稚園教育振興の大いなる原動力となつた事はいう迄もない。

県費といえは本県に幼稚園教育振興費と銘打つて県より幼稚園費の一部のまかなわれたのは昭和二十六年、当時百十二の幼稚園に対し平均二万円の二二四万円が支出された事がはじめてであり、この事は実に全国嚆矢の事と聞いている。

「教育は人にあり」わけでも幼児教育に於ては被教育者が幼少なるが故にこの事は最も重要視されねばならぬ筈であるのに、教員の

資格は要求されて給与の保証されぬ現世にては我が徳島にも給与の不均衡、不平等は甚だしく、これが解決されねば幼稚園の現場によき人を得られずとその運動に着手したのは昭和二十三年の事である。

その時幸にして我が徳島の要路に幼稚園のよき理解者を得、突然とあげた現場の声に相呼応しておしみなぎ協力と鞭撻を得、我々は熱と力の一丸となり三カ年の労苦を経てはじめて初期の目的にささやかながら火を点じたわけである。

我々の点じた火は乏しくとも消えることなく四年を経過した現在では理解者と協力者は次第に数を増し、年度毎の予算獲得期にはより多くの補助金を得なければと奔走している現状である。

昭和二十三年、戦後の教育界に於て義務制でないという一番弱身の幼稚園がこうした運動を展開した当時をしのぶ時、苦難であつた幾多の様相が去来して何千何万の言葉にしても語りつくせぬ思いがするのである。

現場によき教育者を得る事は子供の為、現場をよくし、幼稚園教を増し、すべての子供

が平等に就学前の教育を受けらるようと、こい願う私共の一念は目的完遂の日迄夢にも絶えてはならぬものとますますきおい立つ次第である。

次に本県幼稚園の分布状態におもしろい現象のあることをおしらせしたい。

県内を南北に二分して北方に園数多く南方には極く稀で保育所がこの反対となつてゐることである。

この事は四国の屋根に源をおこし四国三郎とうたわれる吉野川の水の至る県北の生活様式と南方のそれとの相違が遠い影響であるということを聞かされている。

即ち県南では野良に出る時一家は総出で戸を閉めて働きに出る。随つて幼児をあづかる託児所や保育所が地方の寺院等の手によつて古くより営まれて来た事であり、北方では野良に出ても戸毎に留守を守る者がいた為にこうした必要もみられずその内に時の至りて次第に幼稚園の開設された事である。

本県幼稚園の分布状態にこうした事が原因しているとすれば実におもしろい事である。紙面に限られて最後に本県幼稚園の現況を示

してアウトラインとしたい。

1、園数 一五〇

国立一、公立一五九（分園九を含む）

2、園児数 一六、五九九

3、組数 四三七

4、一組平均園児数 三八

5、専任教員数と教員平均給 四六六名 七六三六円

6、就園率 九六、五%

7、保育年限 一年保育が多数で二年保育は極く少数、三年保育は実施されてない。

8、保育料 最高三〇〇円（徳島市のみ）

最低 一〇円

その他は二〇、三〇、五〇、七〇、一〇〇円のところが殆どである。

9、独立幼稚園

四、

専任園長は昭和二十三年にはじめて女子園長四名が任じられ後三名増加されたが現在は大張り四名である。その他はすべて小学校長が兼任している。

10、研究組織体と後援機関

県教育会幼稚園部会

昭和八年以来県教育会の専門部会として、幼、小、中統の教育に一貫し、又各都市互に横の連絡をはかり、幼稚園教育の振興と発展を期して不断の努力をづけている。

各都市幼稚園部会

各都市毎に幼稚園部会を組織して親会である幼稚園部会と同様の目的を以てそれぞれの領域内に於て研究と活動をしている。

県園長会

昭和二十六年二月二十三日結成し、園長会としての機能を發揮しつゝ前者と相俟つて日々前進している。

県幼稚園PTA連合会

昭和二十八年十二月八日結成し、県内幼稚園PTAの連絡提携をはかり、幼稚園教育の充実と振興を期し、社会文化の推進に寄与している。

又名物の話に戻って恐縮だが、これこそ名物としてゆるして頂き度いものに、入園通知

書は役場が家庭におくり、保育料は無徴収、就園率百パーセントという幼稚園が三十三園もある事である。

その町村財政が決して豊かな為ではない。要は町村並びに地域社会における幼稚園の認識が最も正しく理解されている為だと思ふ。こうなれば幼稚園は全くの義務制同様である。国が義務制とするか。市町村が義務制の態勢をつくるか。何れにしてもすべての人が重要と認める今日の幼稚園教育を本県三十三園のその様に何故にすべての子供が就園出来るような現実が伴わぬ事かとここにも矛盾を感じるが、この広い空のどこから幼稚園の幸福は必ず生れるものと永却につづく我が道をますます力強く歩かねばと思うのである。ここ迄書いて私は幼稚園の外形ばかりならべて徳島名物などと自己満足をしていた事に気がついた。『量より質』『質より量』どうやら後者を自慢した事になってしまった名物の出なおしで『量よし、質よし、徳島名物』と全国の皆様に珍重される日まで命のつづく限り懸命の努力をつづけたものである

（徳島市立佐古幼稚園）

フレーベル以後の幼稚園 (5)



眞 守 津

N.T.

第二章 つぎ

幼稚園と社会福祉機関

幼稚園はその社会的発展途上において、種々の社会福祉を目的とする機関において取り上げられ、社会福祉中の重要な一部分を占めて来た。種々の慈善事業団体がフレーベル式幼稚園の提唱者達の主張を入れて幼稚園を設立して貧困社会の向上を計り、又矯風会のような社会の倫理道德を改善しようとする団体が幼稚園を通して地域社会の向上改善を助けようとした。幼稚園がこれらの社会福祉機関の意図する所を助けたし、又これらの社会福祉の機関を通して、世の中に幼稚園の価値を認識させ、その普通が促進されたことも事実である。種々の社会福祉機関の中、今ここにセツツルメントの中で発展した幼稚園をとり上げてみよう。

セツツルメント活動はもともと英国に始まったものであり、一八六七年の夏以来、オックスフォード大学の学生達が、ロンドンのホワイトチャペル地区と呼ばれる貧困街に出かけて行つて、貧困階級の人々の生活を向上させるためにその夏休みを提供したことから始まった。その後各地の大学によってその試みがとり上げられ、各処で成功を見たので、夏休みのみでなく常時設置されるようになったものである。セツツルメントの目的とする所は、貧困階級の人々の中に、互に協力し合うような組織を作り、教育ある人々と接する機会を作り、彼らの要求に従つて知識を与え、職業生活の向上を計り、健全な娯楽を与えるなどして貧困な人々の問題を解決してその生活の向上を助けるということであった。普通の慈善団体と異なる所は、貧困な人々が互に協力して自立して生活出来るような指導と施設を与えるという所にある。

て。単に慈善を施されることによって救済されるというのではなくして、自覚して他と協力し、生活諸般の問題を解決することによって貧困者の生活を向上させることが出来るというのがセツツルメントの指導者達の主張であった。これは幼稚園が乗り出してその主張を実行するのにも最もよい地盤であった。キンダーガルトナー達はセツツルメントの中に入っていた。

殊にセツツルメント活動が米国に入ってから、その中のキンダーガルトナー達の活躍は著しい。シカゴにある「ハル・ハウス」と呼ばれるセツツルメントは最初二人の婦人によって始められたが、その最初から無料幼稚園を持つて始まったものであった。そして当時の最も優れた幼稚園の教師達、キンダーガルトナーがその幼稚園を助けるために集まった。そして幼稚園の指導によって、近隣の婦人団体が結成され、婦人達が自由に語り、問題を話し合った。

シカゴの「ストックヤード・セツツルメント」は幼稚園運動の面からは最も顕著なものの一つである。その指導者の長はキンダーガルトナーであった。アミリー・ヘーファーが云ったように「真のキンダーガルトナー（幼稚園教師）は、正しい意味でのセツツラー（セツツルメント指導者）」であった。（註一）「真の意味での幼稚園は、貧困地域の母親達によって心から歓迎される性格を持っていた。母親達は子供達が良き指導の機会を得ることを心から喜んだ。ストックヤード・セツツルメントだけでも二百人以上の子供が不健全な街頭から幼稚園に収容され、尚多くの両親達が入園させてもらうために順番を待っていた。これらの幼稚園は貧困地域において非常に成功を見たので、すべてのキンダーガルトナーがこれら貧困地域の幼稚園に熱知すべきで

あるという主張が叫ばれ、各地の幼稚園教員養成所でその学生達がセツツルメント幼稚園の見学に派遣され又実習機関として用いられた。

セツツルメントは実際の数がそれ程多いものでもなかったし、又我が国では欧米程に発達しなかったものであるから、幼稚園史上大書すべきものではないかもしれないけれども、世界の幼稚園史の上で一つの重要な意義を持つものとして見逃せないと思う。セツツルメントはもともとフレイベル主義を唱道するために設けられたものでもなく、又幼稚園運動を助けるためにつくられたものでもなかった。しかし結果として、幼稚園が社会のあらゆる隅々まで浸透してゆくことを助けてそして幼稚園の存在価値を社会に認めさすことを助けた。セツツルメントの幼稚園は、フレイベル主義幼稚園の教育方法の細かい点を墨守しなかったし、或いは屢々無視したかもしれない。しかし、それは真の意味での幼稚園を地で行ったのである。チェーン・アダムスは云っている。「もしもフレイベルが此の地上に帰って来たら、彼は確かに幼稚園が余りに子供の教育のみに終始しているのを見て、失望するに違いない。幼稚園を以て近隣社会の中心とすることに失敗したフレイベルの追従者達は、フレイベル主義の正しい意図を把握することに失敗したのである」と、（註二）時代的にもこれは丁度十九世紀の末であり、有識者の眼が社会問題に注がれ始めた時であった。社会学において実際の社会問題を正面から取り扱い始めたのも此の頃であり幼稚園が社会福祉機関と結びつく時代的必然性をも持っていたのである。

註一 Hoefel, A.: The Social Settlement and the Kindergarten.

ten, National Education Association, 1895, P. 514~534

註二 Addams, J.: Twenty Years at Hull House, 1910.

四月二十一日、本誌主幹倉橋惣三先生が逝去されました。あまりに突然のことで、云うべき言葉を知りません。

先生は本誌の前身「婦人とおこも」の編集主幹となられて以来、四十六年の長い間に亘り、本誌を通じて、ごく最近を除いては殆ど毎号に先生独得の美文によつて、読者に多大の感銘を与え、親しまれて来ましたことは、誌友諸氏によく御承知のことと思ひます。

誌友諸氏と共に、心から先生の御長逝を悲しみ、御冥福をお祈り致します。

六月号は既にすっかり印刷も出来上つておりましたが、倉橋先生の御急逝に伴つて、急いで弔文を掲載することにしたため、いつもよりも配本の遅れたこととお詫び致します。今後引きつづいて、倉橋惣三先生の追悼、思い出を寄せられる方の文章を掲載したいと思ひますので、どうぞなるべく早く多数の方からお送り下さいます様、お願い致します。

編集後記

尚、日本幼稚園協会、日本保育学界共同主催の下に、五月二十一日保育学界の当日の午前九時より、倉橋先生の追悼会を行ないますどうぞ多数の方が御出席下さいませ。

倉橋先生に先立つて、先生と縁の深い、幼稚園界の元老、望月くに女史、逝去なされました。謹んで哀悼の意を表します。

六月号、七月号に予定しておりました原稿の一部が、右のような理由で、心ならずも掲載を延期するの已むなきに至りましたことを、特に執筆して頂きました方々に深くお詫び致しますと共に、皆様の御了解を頂きたく存じます。

× × × × ×

幼児の教育 第五十四巻 第六号

定価金五十円

昭和三十年五月二十五日印刷
昭和三十年六月一日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉橋惣三
発行者

東京都文京区大塚町三五
お茶の水女子大学附属幼稚園内
発行所 日本幼稚園協会

印刷所 凸版印刷株式会社
東京都板橋区志村町五番地

発売所 株式会社 フレーベル館
東京都千代田区神田小川町二ノ五

振替口座東京一九六四〇番

○本誌御購読についての御注文は発売所
フレーベル館にお願い致します。